京城日報

（明治三十九年九月八日第三種郵便物認可）　大正九年五月二十日　THE KEIJO NIPPO　（木曜日）　第四千五百三十二號

言語學より見たる朝鮮 (二)

文學博士 藤岡勝二氏談

又北狄の狄は鹿の種族の意であるが、彼等は吾等より劣等種であると信じて居る。日本に於ても萬葉集に柿本人丸がコトサヘグと云ふ枕詞を百濟の上に冠せて居るが、コトサヘグは言葉に通ぜぬ意で南蠻北狄の意である、又言語の區別を以て民族を評價せんとする風は希臘羅馬の人に最も甚だしい、羅馬帝國は甚だしく異民族を輕蔑して居た、今日から考へると今少しく異民族の言語に注意したなれば利益する事が多かつたであらう、此の結果クルト人やゴール人は亡んだのである、今後は自國語を尊重すると同時に他國語をも尊重する必要がある、今日でも哲學上に於ては當然である事を政治上に於ては行はれて居らぬ事があると云ふが是は疑問である、學術上では勿論何れの言語も保存すべく尊重すべきである、されば古代よりも近代に於て他國語を認める事になつたのは外界の刺戟であると謂へる、マストガマが世界を周遊して無數の異つた事實を發見し、夫等の國には各々特殊な文明が存ずる事を知つて、大いに知見を廣めたのは交通の賚である、希臘より羅馬に文明が移された時政治法律は改良されたが、言語には注意しなかつたのである、言語と云ては各國語を研究して學術的に用ふる事になれば非常な利益を生ずる、植物學者が初めは好事的で遣つたのが後には學術的に分類し分析する事となり、大いに研究が進んだのである、學術的研究は西洋と東洋は趣を異にして居る、歐洲人の材料聚集は宗教家が多く關係して居る、舊教のゼシュイット派の人が各々海外に布敎する傍ら種々な趣味の材料を齎らした、ヘルバルミと云ふ人は永住して羅馬へ歸る時には種々な研究材料を齎らした、十八世紀の代印度人間に布敎した西班牙人から其地特有な材料や言語を研究した、米國に於て十八世紀に地方から歸る宣敎師が各研究材料を齎し智識的に研究されたのである、言語としても又大に研究され千八百年にはカタロクを作り四十種の標準言語を網羅し、又西マダカスカルから東南に至る間の諸島嶼の言語に就て馬來語の變化を研究したヘルバル氏の如きは一方西伯利の種々なる地域語をも研究して[illegible]、日本に關係した人では[illegible]ンの初めの人で、サビエー[illegible]の如きは十六世紀頃印度の[illegible]に來り次いで長崎迄で布敎し、此人はサンスクリットも[illegible]支那の古代語も研究した、宣敎師の活動は偉大なる効果を文明に齎して居る（東京支局）

屑屋の籠

隈汀生

國際聯盟と日英同盟

去る十日發巴里特電に曰く、「日英同盟更新につき、日英兩國政府共に繼續には異議なし。唯國際聯盟規約第十八條を考慮せざるべからず、即ち同盟條約のみならず、附帶軍事規約等も、聯盟事務局に提出され、同局の公表後にあらざれば効力を有せざるより、萬事公表して差支なきものに書直さるゝ要あり、例へば成文中、支那領土保全云々は、近來支那人が自國の體面上不快とするより、穩かに訂正するを可と考へらる。軍事規約も亦聯盟規程に適合すべく改めらるゝを要す。交渉は倫敦に於て行はるべし」と。日英同盟の前途に就いては、歐洲に於ても此の頃漸く揣摩臆測の行はるゝこと察せらる。何れにしても、兩國の孰れよりも未だ交渉を開始せずと言明せられたる由なるも、余は前にも述べたるが如く、國際聯盟規約に依りて、條約の登錄を必要とするは勿論である。先頃我が幣原外務次官は、日英其內交渉は必ず既に開かれ、珍田大使は、或は此の問題の解決を以て其任務とせらるゝにはあらずやと想ふ。讀者諸君が、余の前日數號に亘りて、此の問題に關して連載せる所と、國際聯盟規約に就て論評せるものとを參考せらるれば、幸甚である。

國際親和會

內外人が、私的會合に依りて、互に思ふ所を吐露し、心と心との接觸を圖ることは、彼我官邊の公式なる交際よりも、其の親善關係を鞏固ならしむることに於て、却て效果の著しいものがある。國際親和會は、乃ち此の目的を以て新に生れたもので、招待會、講演會及び通信、其の他あらゆる機會を利用して親交上の便宜を圖り、相互に國際的諒解を增進するにある。京城の地は、元來國際的關係の比較的に多い所である。外國居留人の多數なると、支那、[illegible]の通路に當ると、又一つは朝鮮の統治如何が、現今世界の注意を惹くからであらう。今此の地に於て本會の設置を見るに、余は其の最も適切有効なる企圖を表するものである。

太宰府に遊びて (二)

（五月十五日夜稿）

太宰府は、慈『オホミコトモチ』と訓んだ、蓋し大御言持の義にて、天皇の詔を承けて任所に赴き、管內の政を行ふ意であらう。西海道九ヶ國二島を總管し、兼て外寇を防ぎ外交の事を掌る所であツた。其の役所であつた都府樓の舊址には、『都督府古址』の五字を刻せる一片の碑石が建てられ、畑の中の小高い約八十坪餘の芝生の間に巨大な礎石が點々として凡そ三十餘も遺されてある。其の石は今は破壞れたのが多いけれども、それでも大きいのは二枚程ある。そして石の上には何れも柱の圓い受け痕があり、徑二尺五寸もあるから、其建物が如何に壯大であツたかゞ推思せらるゝ。樓の古瓦は今も畑の中に見出されるが、皆粉碎して猶ほ全きは絕無なりといふ。余は暫らく此處に佇立して上古神功應神以來の盛事を偲び、綸端を求めて、二町ばかり東北に在る觀世音寺に立寄ツた。此の寺は西海道勸建の戒壇にて、其工事に八十年間もかゝツたと謂はるゝ程の有名な寶刹なりしが、中世衰廢し、元祿に纔に小宇を興し、其の舊跡を傳ふるのみである。それでも堂內には古佛像が數軀ありて、高さは孰れも二丈に近い木像で、巧妙の作らしい。佛像や寶物は千餘年前のものが多く、今は國寶となツて居るのがある。菅公の詩に『都府樓纔看瓦色、觀音寺唯聽鐘聲』と詠ぜられたのは、此の名寺の鐘の事である。柴秋村の詩に

『都府樓空瓦亦摧。
平田無處覓遺基。
疎松落日觀音寺。
只聽鐘聲似昔時』

ある其の古い鐘が、今も猶ほ鐘樓に懸けられてあツた。余は俯仰感慨、低徊去る能はざるの想ひがした。此處から東七八町行けば太宰府の町に入り、町家の間を三四町進めば、天滿宮の大華表があつて、兩側に多くの旅館が立ち並んで、其の正面の突きあたりに天滿宮が在る。太宰府の町は全く此の社の爲めに立ち行くのである。境內には池あり、反橋もあり、一寸東京の龜井戶天神に似て稍大なるものである。社殿は近年の再建で、立派であるが、まだ新しい。例の名高い菅公の『飛梅』もある。兎も角九州では有名の神社ではあるが、前年箱崎の八幡宮に詣でて其の社殿の莊嚴、四圍の景色の雄大なるに打たれた余には、何となく物足らぬ感じがした。余は天滿宮よりも、太宰府の町よりも、都府樓址や觀世音寺に憬るゝのである。

▲正誤 前回同稿の末段 地位に打つ は 地位に立つ 改善を致す は 改善に力を致す

神仙爐

劍花坊

醉古堂劍掃に就て (二)

醉古堂劍掃は支那の書物の多くから面白い句を拔書にしたのだから、名句の鈴生りと云つてもいゝ位だが、この句の世に出たのは、いたづらに半可通の數を增し、放逸者に辯柄を與へた弊はあるまいか、娛樂の書としてなら、或は趣味一方の書としてならそれもいゝが、其の序文などを見ると大變なことが書いてある、固より靈藥の效能書に效能の有つた例はすくないが、僕は醉古堂劍掃を好んで讀んでるから、この書の爲めに、宣傳の效能などゝいはれたくない。況してや其の語句は立派なものにちがひないが、其の原書の前後の關係を書かずに、直ちに其の金玉の文字だけを拔いたのを讀者はソレに沒頭するから、覺わず所謂名教に害あることも仕出かす、また生物識りをふり廻して鼻ひこつかせる人間も生じることになる。

朝鮮川柳發表

劍花坊選

○辻煙草賣ろには罪が立派過ぎ　仁川 有秀郎
○チョクリから乳房ハイカラさ　大邱 喧嘩子
○哀號の出盛る棺に時雨ふる　仁川 詩腕坊
○哀號を初手は唄かと思つて居　釜山 八卦堂
○神仙爐寄せ鍋と云ふこゝろ也　金泉 又六
○靖正を昔恐れたかぶり物　鎮南浦 可敗
○ハイカラのあたまに親は苦い顔
薬柳の下へヨンガミ寄りたがり
黃金の小山に鼻をつまゝせる　大邱 喧嘩子
○ジャンギリが征韓論へ水をさし
日本から大きな鳥が來る世なり
落日に鵲が歸く箕子の墓　西大門 死口
○朝の窓黃金の瀧をきたながり
上流に高麗からつゞく血が殘り
河內より金剛山は本家なり　花園町 蝉丸
○慶宮へ來て二十年前を思ひ
兜州に在つた石さへ冷やかに　大邱 日出好

大々好評 宴會と藝

宴會の席で尤も必要なのは交際上手即ち人を飽きさせず滑稽諧謔の裡に花を咲かせ一座の興を盛り上ぐる[illegible] 本書は即ち世の紳士青年は君が安心得べき高尚な隱し藝の粹を集めたもので先づ宴會の仕方、酒席の心得、常盤津、義太夫、浪花節、琵琶、詩吟、劍舞、ケン藝の打方、式辭演說、座敷手品等全部掲載 菊判美本 二百廿頁 祥裝優美 全一冊

交際上手社交の必要 ドソナ職業者も本書一冊で立派に交際人となれる

株式名義書換停止公告
大正九年六月一日ヨリ定時株主總會終了ノ日迄株式名義書換停止致候
大正九年五月
大日本製糖株式會社

鳳凰印 孔雀印 便利瓦
材料 純良羊毛と最良アスファルト液及び耐水耐火耐酸力に富む諸材料の合成品
特色 多年學理的研究と實驗の結果案出したる理想的屋根材にして大に賞讚を博す
耐久 寒熱乾濕藥品火災に對し絕對安全普通瓦方にても廿ヶ年以上耐久諸合のアスファルトにて貼付くれば永久不朽
便利 輕便なる故架工を節約し瓦方頭る簡易なれば工費節約となり價亦至廉也
特約店、販賣店募集
大阪市西區阿波堀通四ノ三
日本スレート アスファルト工業株式會社出張所 電話新長一四〇七
御申込次第營業案內及び見本進呈仕候

本科講義錄 校外生、本科講習生用
財團法人 電機學校 校外生 講習生 募集
豫科講義錄 完備好評 東京市神田區錦町三丁目 電神田三一〇八、三一〇七、三一〇二

大歡迎 最新刊 實用作文法講義錄
類書中の模範 手紙や文章は誰でも上手に書きたい下手の爲に笑はれる 本講義は速成に實用向の作文書を網羅 定價七拾五錢 發行所 東京赤坂丹後町九十二 日本青年通信社

雄辯家養成 演說講習錄
定價壹圓貳拾錢 發行所 東京赤坂丹後町九十二 日本青年通信社

大阪仕入案內
大阪仕入案內社 第三十年五月發行

京城 建築材料
セメント 石灰 左官材料一式 各種色土 砂 布海苔 莎 左官用 東京鏝 各種塗料用品 建築材料種々 火山灰 硅藻土 各種耐火煉瓦 煉瓦 土管 瓦 防水劑 鑄工要鐵 石灰特約販賣 九州火山灰株式會社 代理店
京城旭町一丁目 卸商 戶澤商店

大阪屋號
最新刊

主婦之友 六月號
健康增進號 いよく出ました

婦人病を全治した私の實驗
重い婦人病を手術に全治した愛讀者諸姉の實驗で婦人病のために惱む方にとりて何よりの參考です。

奇蹟的療法と稱せられる 山田式整體術
最近發明の治療及び健康術で僅か一回の施術で瀕死の重病者を治し驚くべき整體術を詳細に紹介します。此法は何人にも直ぐ會得される簡易法です。

何人にも直に實行される 健康法の秘訣
病弱の人をも健康者に一變せしむる不思議な能力を有する中川華舟氏が本誌のために何人にも直に實行されるやう健康法の秘訣を發表されたもの。

治病に不思議な效能ある 新理學的療法
從來の療法と異り一服も用ひずして平易に心持よく如何なる重病をも治癒せしめて不思議な療法と稱されてゐる新理學療法を發表します。諸病治癒と健康增進の福音であります。

乃木夫人の新妻時代の離婚問題
前號より連載の乃木大將夫人の一生は非常の評判となりました。本號には新妻時代に起つた夫人の離婚問題を中心として、夫人の涙の生活と決死の修養とを詳しく物語つてあります。勿論何人も修養の活模範として必ず一讀すべき好讀物であります。

家庭に於ける小學兒童の 復習と豫習法
子供の學業成績を良くするには家庭に於ての復習と豫習とに注意せねばなりません。本誌は世のお母様の爲に最も親切なる心得と注意を詳細に發表しました。御一讀を願ひます。

不思議に效驗の著しい 乳の出る妙藥
乳が無くて四人の子供を育てた方が五人目のお產の時に妙藥を試みて澤山出た喜びの實驗を發表致します。乳の無き方は御一讀下さい。

不如歸以上の悲劇として評判の 實說哀話 身の成る果

◎學理的冷水摩擦の方法 ◎命定めの麻疹病と其手當法 ◎廢物利用のモス浴衣紋染法 ◎雨ゴートの裁ち方と縫ひ方 ◎男持二つ折財布の拵へ方 ◎經濟的な一週間分惣菜 ◎簡單な季節の西洋料理 ◎赤坊を育てる母の心得 ◎寫眞鑑定婦人運命判斷 ◎初夏の美しい盛花法

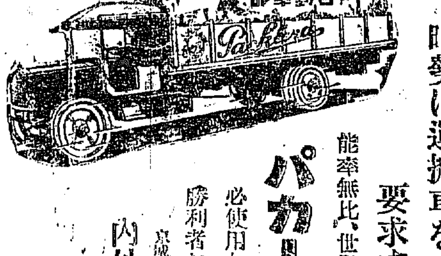
渡邊霞亭先生傑作 長篇小說 金扇
大評判の小說で、本號はいよく面白くなりました。早く御覽下さい。
定價四十錢（送料二錢）半年二圓四十錢
東京神田表神保町 東京家政研究會（振替東京三三七八六番）

高評噴々タリ 城山組

大正八年八月 朝鮮空前の模範的詳密大地圖出來 最新朝鮮大地圖
發賣元 京城日報社代理

廉刷 發賣
法學博士 福田德三著 廉刷 黎明錄 特價參圓四拾錢
東京日日新聞 東京朝日新聞 東京時事新報
發兌 東京京橋 大阪南區 株式會社 大鐙閣

時勢は運搬車を要求す
能率無比、世界第一の パッカード運搬車
必使用して始めて平和戰の勝利者たるを得べし
京城長谷川町一一六（電一四三五）
內外興業株式會社 自動車部



新刊 好評噴々
前東京高等師範學校教授 明治大學講師 佐久間信恭先生編
發音つき英和新辭典
英語自習難を嘆かるゝ方へ急告

戰爭終結決議案 米國上院・通過

米國上院は獨墺兩國の戰爭狀態終結の決議案を三十五對四十三の多數を以て可決せり（華盛頓電報）

スパ會議と獨要求

スパ會議の消息に依ればスパー會議に於て獨逸委員は左の重要事項に關き要求を提出すべしと（シドニー電報）

一、人民投票の結果如何に拘らず上部シレシアを割讓せざること
二、獨逸カカヘタイの一部回復
三、殖民地の回復
四、占領軍の費用輕減
五、聯合國より獨逸に原料品を提供すること
六、獨逸陸軍兵員を二十萬に增加すること
七、獨逸に對し即時國際聯盟加入を承認すること
八、第一回賠償金支拂期日を成るべく延期すること

兩首相大使協議

フォルクストンよりの報道に依れば佛首相ミルラン氏は此程渡英し駐佛英大使デルビー伯も十四日到着し英首相と協議を再開せるが佛國は償金一億磅を得ざれば滿足せざる可しと（倫敦電報）

露土軍事協約

露國勞農政府と土耳其國民黨首領ムスタファアバシャとの間に秘密に軍事協約結ばれたるが這は聯合國に對する攻守同盟なること云ふまでもなし（伯林電報）

ルール獨兵力縮小

巴里タイムス紙通信員の所報に依ればノルレー將軍はルール地方に於ける獨逸の兵力を既定の範圍内に縮小せる旨發表せり去れば フォッシュ元帥は獨逸に於ける占領地帶の撤退を訓令せり（倫敦電報）

葡牙利内閣辭職

葡牙利内閣は十七日辭職せるが多分聯立内閣の組織を見るべしと（巴里電報）

殘壘革軍引渡か

フラスビルト黨と對峙せる墨米利加國境に於けるカランザ將軍最後の殘壘ユタモルスは十四日革命軍に引渡さるべしと（紐育電報）

聖上の御病狀を問ふ ヂットニー氏松井大使接見

駐佛日本大使松井氏は國際聯盟會議に列する爲め當地に著し同會議長デットニー氏を訪問せるが同氏は最も懇篤なる態度を以て松井氏を接見し日本皇帝陛下の御病氣に關する報道に就て質問する所ありたりと（羅馬電報）

日米貿易大發展 貿易委員會組織

日米間の貿易は近時急激なる發展を遂げたるに鑑み米國各紳商間の極東訪問の結果として日本協會にては特に貿易委員會を組織することに決し該委員中よりセボン、プアターリツプ、キングスレー氏の如き知名の士を同委員に任命せり尚日本協會理事長ラーセル氏は述べて曰く昨年七月一日より本年二月末日迄米國より日本に輸出せる貨物は亞細亞諸國に對する輸出高の全部を加へたるものよりも四千萬弗多く又同期間内に輸入せる貨物は英吉利より輸入せる額よりも五千萬弗多しと（紐育電報）

浦鹽新聞の論調 我軍司令官の宣言に對する

浦鹽派遣我軍司令官の宣言に對する浦鹽新聞の論調左の如し（東京特電）

一、十三日附クラスナヤ、ズナーミャ紙は再び軍司令官の宣言を評して曰く『日本の希望する緩衝地帶地域設置は極東占領の一歩に非ずや日本にして直ちに日露の親交を希望せば速かに撤退を斷行す可し之が爲めに露國は莫大の代償を支拂ふを辭せず更に宣言中明かに過激派の存在を默視せざる意あり然れども露國は之が爲め何等日本に危害を及ぼさんとするものに非ず故に日本は妥協案を國民に提出し露國民をして適當なる政體作成に努力せしむるを要す』

二、オボスレニエー紙は曰く『今回の宣言たる極めて穩健なるも日本は唯露國に要求を提出するのみにて自ら遂行を宣言せず即ち中立地帶設置の障害たるセミョノフ處分の如き之なり又敵主義が鮮滿を侵さざるを保障せよと云ふも思想に城壁無きを如何せん之を要するに斯ては日本に撤兵の期無かる可く從つて之に依り四月事變後の日露疎隔さへ除去するに足らざる也』

日英同盟と支那 北支那新聞の論評

ノース、チャイナ、デーリー、ニュースは十七日の紙上に於て日英同盟論を掲げたるが要旨は千九百十一年の協約が日本の軍閥に利する所以を說き現條約の儘に繼續することに反對し結論に日本政府は繼續を望むもの、如きも英政府は日本の希望に副ふの要ありや支那と同じく滿洲に於ける商業上の機會均等に關する確たる協定不正の對支借款停止殊に青島の將來及び山東に於ける獨逸の權利を支那に還附する事の確乎たる提議に就き何等の誤解無き樣條約の改訂を要す滿足に日英同盟改訂されなば支那を惱ます事無かる可し改訂は必ず英日支三國に取り等しき利益條項を含まざる可からず然らずんば支那民衆の反對に遭ふ可し日英兩國も支那の統一と發達とを望まば兩國共結局對支貿易に均等の利益を受くべし相互に利ある同盟を結び得ざる理由あらんやと（上海電報）

派遣隊デカストリー上陸

陸軍省發表＝曩に北樺太亞港に派遣せる尼港派遣隊は其の後同港に滯在中なりしが其の一部は五月十四日北部沿海州デカストリー（尼港南方約五十里）附近に上陸せり（東京電報）

米對支貿易注意

米國商務省より發行せる『支那商業便覧』に於て北京駐在商務官ジュリアン・アーノルド氏は次の如き注意を與へたり（紐育電報）

支那と取引せんとする米國製造工業家商業家の代表を支那に派遣の要あり支那に對する貿易に就ては資本家の合同を許可す可き方法に依り少額の費用にて高潔なる人格者を共同代表者と爲すを得可し現今支那の外國貿易は大部分支那人よりは寧ろ外國人に占められ居る事に注意せざる可からず支那人が自ら相當額に輸出入を爲すには十數年を要す可し故に米國人は此際（一）支那に自己の商舖を設くるか（二）既に設けられたるものと合同するか（三）其の取引を仲介者に委ぬるか（四）巡回販賣人を使ふか（五）自國仲買商又は運送店の手を經るか（六）開放市場を基礎として支那に於ける商人と直接取引するか何れかの方法に依らざるべからず

福州近く解決か 支那政府圓滿解決方針

福州事件は曩に日支兩國間に意見の杆格ありし爲め停頓の狀態にありしが最近小幡公使は外交部を訪ひ種々折衝を重ねたる結果支那政府も國交上同事件解決の必要を認め大體に於て曩に日支兩國官憲の爲せる共同調査の結果を基礎とし双方互讓的精神に依り圓滿なる條件を以て解決の方針に出で漸く日支兩國間意見の接近を見たれば内田外相は右解決の具體案を十八日の閣議に提出承認を得同日小幡公使宛解決交渉方を訓電せり（東京特電）

建設改良共に 資金の許す範圍に於て施設せん

鐵道大臣 元田肇氏談

余は今回鐵相の職に就きたるも何分鐵道に關しては全くの素人なるを以て元より施設方針として何等確信無し元來鐵道の仕事は一般商工業の根元にして其の施設經營の可否は直ちに一般に影響す可く建設改良共に資金の許す限り之を爲さん方針なり資金問題に就ては相當困難を感ずべきも能く大藏省と協議の上前述の主義方針にて邁進すべき考へなり其の他一般の事柄に就ては夫々專門家もある事なれば充分調査の上計畫を定めて實施を期すべし（東京電報）

總督府司法官 官制改正

十八日官報を以て左の勅令を發布公布せられたり（東京電報）

一、朝鮮總督府司法官官制中改正の件

總督首相訪問 廿二三日頃歸任

齋藤總督は十八日午後一時半首相官邸に原首相を訪問し朝鮮人の學制其他に關し種々會談する所ありたり尚總督は公務の都合上來る二十二三日頃歸任すべしと（東京特電）

山形六區選擧

山形縣第六區（最上、北山村兩郡）の總選擧投票の結果左の如し（東京特電）

高橋熊次郎（政友新）

豫算外支出 傳染病豫防費其他 勅裁

總督府大正八年度豫備金外支出は六百六十四萬九千四百七十圓に達したるが昨年虎列拉病流行の爲傳染病豫防費補助の豫算に不足を生じたると取締費警察費監獄費等膨脹したると十二月中多量の降雪あり電信電話線の被害甚だしかりしを以て之れが復舊工事に豫算外の支出を要したる等の爲めなるが右豫算外支出の件は勅裁を經たる旨大藏大臣の名を以て告示せり其の明細左の如し

▲三十三萬七千二百六十圓傳染病豫防費補助▲十萬八千三百四十二圓在監人費▲八萬七百二十圓獄捜費▲一萬八百六十五圓總督府獄捜血清製造所事業費▲四萬八千百十五圓電信電話線雪害復舊費▲拾萬七千四百五十圓臨時取締費▲五千百八十一圓臨時警備電話費▲二百三十五萬七千八百六十六圓臨時警務費▲二萬五千六百九十四圓臨時監獄費▲百四十六萬一千六十四圓臨時手當補足▲二十三萬六千五百三十二圓俸給及諸給補足▲二萬四百一圓水道事業費補足▲五萬五千六百八十四圓通信事業費補足▲百七十九萬三千二百九十四圓旱害救濟費等

朝鮮醫院其他

朝鮮醫院及び濟生院療養部等にては患者の增加並に物價騰貴の爲め療養及び醫療費等の豫算に不足を生じたるも八年度朝鮮醫院及濟生院特別第一豫備金豫算擲切

釜山築港起工式擧行 水野總監以下一千餘名參列 盛況を極めたる官民祝賀會

釜山築港第二期工事起工式は十九日午前十時より擧行されたが前日來の曇天全く晴渡り海波靜穩近來に無き好日和港内は幾十隻の大小船舶が滿艦飾を施し其光景宛然百花の綠野を飾るに似たり午前八時第一爆聲と共に水野政務總監を初め伊藤秘書官藤波通譯官西村土木部長和田鐵道部長青木庶務部長佐々木慶南知事等は榛葉土木出張所長の案内にて式場たる**第一棧橋に**到り來賓及係員の參列八時卅分祭典を行ふ神官の修祓神式の後水野政務總監西村和田青木の各部長佐々木道知事榛葉出張所長本田府尹松井税關長香椎商業會議所會頭其他順次神前に玉串を捧げ終つて昇神式あり時に午前十時第二爆聲と共に用意の小蒸汽船に分乘して第二棧橋を廻航し浚渫丸にて水野政務總監以下四十餘名其他來賓一同は十隻の小蒸汽に分乘して第二棧橋を發し防波堤築造の位置に到りて碇繋に移乘し更に神官の修祓終るや化の如き榛葉出張所長の合圖ありて（ヘ）の基石除幕あり水野政務總監は進んで沈下式を行ふ時に港内各汽船及び釜山港内の各工場は一齊に**三分間汽笛**を鳴らして祝意を表しこの間基石は次第に水面下に沈下して無事式典を了りたるが一同は港内を巡遊して第二棧橋に至り臨時解散せり斯くて政務總監一行は正午より官民主催の祝賀會に臨席す爆竹の音と共に開會劈頭先づ君ヶ代の奏樂あり本田委員長の挨拶あり總督代理水野政務總監の式辭來賓及び會員の祝辭あり夫より香椎副委員長の發聲にて釜山の萬歲を三唱し會員一千餘名の間を百餘名の妓生及び藝者等餘興旋舞ありて摸擬店開始の後隨意解散したり市中には祝意を表する爲前日の十八日夜より盛んに煙花を打揚け十九日は午前六時より夜の十二時迄に亙る間各町にて舞臺又は屋臺を曳出し各町競爭の有樣にて空前の盛況なりき（釜山特電）

客年鮮鐵運輸 輸送成績良好

八年度に於ける朝鮮鐵道運輸狀況を聞くに貨客收入共に前年度に比し三割乃至四割を增加するの好況を示せるが這は經濟界の盛況に基き旅客の交通貨物の移動多かりし結果にして今之を旅客運輸に就て見るに前年度來に繼きたる騷擾事件の餘波は陽春の**年中行事**たる花見及び觀光企畫を中止し其他夏季に於ける虎列拉病の流行等運輸上の障礙を蒙りたるに拘らず大戰終熄後の景氣一層良好なるものありしを以て交通界は空前の殷盛を極め隨つて前記の好績を擧げたるものと謂ふべし又貨物輸送は前年度來の好況を保持し殊に本年に入り出貨益々多く容易に滯貨の一掃を見るの域に達せざるの狀勢なるを以て京管局に於ては貨物列車の增發及運輸機關の增備をなし極力之れが對策を講じたる爲め年度末に於て漸く幾分の曙光を見るに至りたるも年度を通じ**繁忙裡に**終始せるが故に輸送成績は良好なるものあり今主要品を擧ぐれば石炭の三十八萬噸を首位とし次は米三十萬噸粟及木材の各二十萬噸大豆十五萬噸鹽鑛石の十三萬噸の順位にして米が西北鮮地方凶作の影響を受け減退せる外他は何れも前年度に比し著しく增加を示せり統計左の如し

乘車人員千二百十四萬五千四百五十二人（前年に比し二百七十七萬八千四百二十九人增）貨物噸數三百六十七萬四百十三噸（前年度に比し十六萬一千九百四十六噸增）客車收入千百五十二萬千七百[illegible]（前年に比し二百五十八萬二千三百四十七圓增）貨物收入九百九十萬四千二百八十五圓（前年に比し二百二十二萬七千八百九圓增）

りとなりたると朝鮮人官吏以下の俸給及び諸給料增加の必要ありしが之を以て豫算外に合計十二萬五千六百圓を支出したるが右豫算外支出の件は勅裁を經たる旨大藏大臣の名を以て告示せり

遞信判任增員

遞信局の書記技手書記補の定員は九百五十二人なるが今回勅令第百三十一號を以て二名を增員し九百五十四名と改正せり

綿布總解合内定 廿三日の組合總會に附議

京仁綿布商組合は現品の騰落不定により窮狀今日となりては何れも自衞策をとり徐に大勢の推移を待つの外策なきに至れる模樣なり而して自衞策の最上なるものとして解合問題及びシンジケート組織を提唱しかくて紛糾錯雜せる取引關係を判明せしめ一面には團體の集合力により て銀行よりの金融を得んとするは誠に適宜を得たる處置なりとは云へ屢報の如く各店の利害關係は全然同一ならざるを以て解合問題に關しては屢々組合會を開催せるも容易に協議の纏まらざるものあり現に某商店は買方に廻り而も其の買方となれる商店は非常なる窮況に陥れる關係等より某商店は此解合問題に就ては餘り氣乘りせざりし模樣なるも某店も此の場合全部の爲に自店の利害のみを主張し難しとの意見を持するに至り十八日午後三時より白水にて開催せる組合會にては總解合をなすことに内定し愈々來る二十三日の組合總會にて之が決行を議する由尙ほシンジケート組織に就ても大股委員間に於て其の立案を了り既に銀行業者に對して金融の交渉を開始せりと云へば久[illegible]により進退兩難に苦しめる京仁綿布商も茲に何等かの解決の曙光を認むるに至るべし

麻布解合前途 結局解決乎

商の買方に立ち鮮商の買方たる支那麻布の輸入量は六百萬圓と稱し又八百萬圓とも稱せられつゝあるが暴落不賣より來る鮮商の決濟難は兩者の値引決濟關係密接につきその所說時々に變更する模樣なり從つて樂悲の觀察を生み居れるが本問題に關係深き某有力銀行家は結局契約値段を以てその受渡の完了を見る事は不可能の實へにありその或る程度までの打合は必然來るべし唯問題はその程度の如何にあるべく金融業者としては成るべく鮮商の手疵の輕からん事を望み居れりと語れり

内地銀行帳尻 預金の内地送金多し

五月上半期末の京城に於ける内地銀行三支店の帳尻を聞くに左の如く貸出しは之れを預金に比し著しく少額なり

行名	預金	貸出
第一	一、〇二八萬圓	一、〇六八萬圓
百三十	三二二	一六〇
十八	四一八	三一二
合計	一、七六八	一、五四〇

乃ち二百六十四萬圓の預金超過を示せるが第一銀行は貸出額預金に比し四十萬圓を增加し居れるも十八銀行は預金の貸出しを超過する事約百萬圓を算し又百三十銀行は放資額預金の五割に過ぎず吸收預金の内地送金傾向益々甚だしきに似たり

主力株の暴落 前途觀如何

朝鮮に於ける主力株と目すべき鮮銀殖銀東拓仁川取引の株價が遂に今回の財界恐慌により幾許の打擊を蒙りたるかを見るにその前年及び本年に於ける高値と昨今の相場を比較すれば實に左表の如き隔差を示し居れり

銘柄	昨今兩年高値	時價	値下程度
鮮銀	二一五圓	一二八圓	八七圓
殖銀	八六	五八	二八
東拓	一〇七	五八	四九
仁取	二八〇	二〇五	七五

鮮銀は高値二百六十一圓に達せしも新株含みにつき銀行の附したる最低プレミアム五十圓を扣除したり殖銀も百二十六圓の賣買ありしも前同斷仁取は二百六十五圓最高値なりしもその約十五圓の拂込みをなせしにつき右額を加へ二百八十圓としたり乃ち鮮銀は約七割強の棒下げなり殖銀は五割下げ東拓九割暴落し仁取は四割弱の値落なり居れり右の中東拓の如きは大正三年の戰亂開始財界不況の際さへよく六十圓を保ちたりその後會社の營業は地價の暴騰に伴ひ株價も漸次の諸價格の昂騰により著しく堅實を加へ來れるに拘はらず反落し株價は大正三年を下廻り鮮銀株亦大正四年の不振當時の七分の低率なる際さへ百廿八圓を保ちしもの今日銀行の内容一新し配當も九分に增加され次期には一割配當をなさるゝに拘らず株價は著しき勢を呈し殖銀も二十圓拂込み立刻々海の物とも山の物とも分ち難き時さへ十餘圓のプレミアムを附したるに今日の實値を擧げ前途多望の際辛うじて親株のプレミアム八圓を算するは意外とすべく仁取は前期配當六割當時は最低八割を期待され積立金が期末には百萬圓を超ゆべしとの豫想あり時價は假に六割配當と見て一割二分八厘とせば一割六分の利廻りに落ちたるは何れも要するに如何に金融の梗塞が甚しかを知り得べく旁人氣を度外にし株券の投物を誘致せしかを知り得べく旁人氣の落ち著きと共に發券の特權を有する鮮銀株は六分利廻りの百六十圓見當まで殖銀は七十圓所東拓は九分利廻より云ふも四十五圓見當仁川取引所株は株の性質より見て八十圓は見るべし

京城在米減少

五月十五日現在京城在庫米は白米四千五百餘叺玄米一萬六千餘叺合計二萬五百餘叺にして之を四月三十日現在に比するに白米五百餘叺の增加玄米一千六百叺の減少なるが之が原因としては依然たる出穀減少と相場の浮動狀態による賣控にあるが如し

選擧界形勢 漸く緊張

京城學校組合議員選擧戰は選擧期日の切迫と共に各候補者に於ても何時迄も形勢觀望の態を裝ひ暗中飛躍を繼續するの漸く不利なるを覺り公然名乘りを擧げ來るに至れり南大門外懇話會の如き過日來町内詮衡委員にて着々候補者を物色中の處十九日正午愈々現議員肥塚正太及新議員として土井一義の兩氏を公認候補として推選せることを聲明したりかくて古市町方面に於ける龍山立候補者の切り込み戰に對抗せるが如く每次の選擧戰に於て常に歩調を一にして極力立候補を應援せる門外懇話會の今後の活動は目覺しきものあるべく其他各方面に亘り立候補の聲明續出せん形勢なり

朝郵新船竣工

朝鮮郵船會社より大阪原田造船所に註文中なる一千五百噸級船南津丸は既に進水式を終り目下艤裝中なるが月末までに完成し朝郵の間に受渡しを了すべく會社にては浦鹽阪神間に就航せしむる由

商工聯合會組織

京城府内の既設商工組合は過般の市民大運動會開催と共に聯合會組織の機運至り各組合代表者會合協議の結果愈々聯合會組織に確定し十八日午後京城商業會議所内に組合有志會合して組合規約草案に就き打合せを了し町本藤次郎氏より役員詮考委員を推薦したる後、該詮考委員が役員を選擧する筈なりと因に現在既設組合數は京龍を通じて五十餘の多きに達せるが聯合組織の上は組合全部網羅すべしと言へり

學校組合會議

十八日午後二時より京城府學校組合協議會を府廳に開催し南大門驛工事に伴なひ學校組合基本財産たる南大門通り五丁目の所有地の一部は道路敷地として收用區域に該當せるを以て之が賣却及附近官有地と交換し右賣却代金及交換差金合計千二百餘圓を教育基本財産に編入の件を附議可決したり

辭令

今回左の通り辭令あり

京城工業專門學校教授兼總督府技師 曾根田又雄
依願免本官並兼官 總督府技手 中田傳平
陞叙高等官六等 總督府道技師兼勸業模範場技師 高見長恒
免兼官

秋山檢閲使 來城

第十九師團檢閲の爲め秋山特命檢閲使は村岡少將以下十數名の隨員を從へ十九日夜八時著列車にて來城廿日は昌德宮に參殿李王殿下の御機嫌を奉伺すべしと

水野總監一行

水野政務總監一行は十八日午後七時五十分着列車にて釜山に着第二期築港起工式並に祝賀會列席の爲來釜途中沿道各驛より佐々木慶南道知事及び八木第三部長、香椎商業會議所會頭其他主なる官民多數の出迎へを受け直ちに三輛の自動車に分乘し釜山鐵道ホテルに入れり因に各地方よりの來賓續々來釜大池旅館其他各旅館へ投宿中なるが其氏名左の如し（釜山）

▲釜山停車場ホテル 水野政務總監、西村土木部長、和田鐵道部長、青木庶務部長、藤波通譯官、時實[illegible]外二名
▲鳴戸旅館 永井松次郎、倉橋[illegible]、岡今朝雄、原田靜雄
▲大池旅館 佐々木慶南知事、八木慶南第三部長

大邱行

釜山築港起工式の爲め來釜したる水野政務總監は式終了後東萊溫泉に赴き一泊廿日朝大邱に向ふべしと（釜山特電）

山梨次官北行

陸軍次官山梨半造中將は西尾少佐を隨へ十九日朝十時南大門驛より平壤に向け出發したるが龍山驛には宇都宮軍司令官以下多數見送れり

教育視察團

▲香川縣教育會主催にて教育關係者二十名は滿鮮事務視察の爲め六月六日來城の豫定なり▲岡山縣教育關係者、實業家、醫師等二十名の滿鮮視察團は來る廿七日京城着の豫定なり

支那政情

田中鐵道省參事官談

北京駐在たりし鐵道省參事官田中耕三氏は十七日朝下關通過東上したるが其談次の如し（下關）

支那政局 現今の支那には中心勢力家無く而かも餘りに議論家多き爲めに議論倒れをして一事たりとも圓滿なる解決を見ず議論多きは之を可なりとするも日本などとは根本精神を異にし悉く自己擁護自己本位より來るが爲めに其悉くをよくすると云ふ事は不可能にして假に一内閣成立するも安定を保つて國政の進捗を見る能はざるは寧ろ當然なりと云ふべきか若し日本の如く支那の各名士が國家本位より議論し國政に臨まんか産業上の富源は豊富にして餘力餘りありて富國強兵の實を擧げ得べき現下の財政を整理するも必ずしも難きにあらず而して新内閣の動搖も其暗礁は財政と外交の難局に頓挫せし者の如く後繼内閣に就いては周樹模氏擬せられ最初は安福派の諒解もあり難なく成立の噂傳へられたるも最近兩者間に大なる障礙ありて成立の可能性なしと云ひ代つて總理を命ぜられたる薩鎭冰氏は又之を受けずと云ひ殆んど外より之を窺ふ能はずして北京の政局は混沌たるものなり

山東問題 に對する支那の回答の遲延も若し支那に國論の一致等と云ふ強い後援が存在すれば既に發せられて居るものとせばならぬ而し乍ら支那には直接交渉論と直接交渉忌避論との在り其議論の歸調が國家觀念より出でずして全く自己の立場を先づ第一にして論議しつゝあるが爲に到底國論の一致を見得べき可能性なし爲に政府の方針も定まらず荏苒せるものにして何等かの回答をなさざるべからざるも事は政府者の勿論焦慮する處にして焦慮苦心し居れる點は實に滑稽にも直接交渉を諾するが如く又叙合ひに依つては國際聯盟國の仲裁に依つて決し得らるべくも文何の捻出に惱みつゝあるもの、如く支那の一文家も其回答文に對手國を滿足せしめ而して直接交渉非直接交渉の兩刀を使ひ得らるべき案文の作製には餘程苦しみつゝあるもの、如し

東淸鐵道 問題に就ては余の直接關係外の事なれば[illegible]恐らく支那が露佛の投資團を[illegible]切つて我物とする事は到底[illegible]能なるべしホルワット氏も[illegible]を賭つて支那の爲に盡さん[illegible]る意志毫頭なきもの、如く[illegible]部の顧問たるに就ても[illegible]ありたるもの、如し同[illegible]心として將來の露支關係[illegible]に値すべし

伊機歡迎

伊太利飛行機の歡迎に就ては餘程以前より緊張し大に期待され居たるが偶々伊太利は地中海方面に於て海上法規に抵觸せる支那汽船を抑留せし爲問題となり支那側に於ては斷然着陸を拒絕し歡迎も絕對に行はずと云ひ出し一時非常なる紛擾を惹起せり然れども日本をはじめ列國より國際禮上面白くないからと云ふので仲裁し己に角國際の如く歡迎する事となり伊太利側よりも交換條件として抑留汽船は解放するからこの[illegible]出で無事解決したり

加藤社長歸城

[illegible]社長は滿洲へ出張中の[illegible]は午前六時五十分著列車にて[illegible]城の筈

財界閑話

▲東拓の總會も廿三日に東京で開かれるが總會以外に何ぞ議案も改選も今度は無いらしい▲朝鮮に株主側から突込みなど[illegible]▲東拓の社業の中樞機關を置かぬ事は批評の中心をなしたのは[illegible]聞けば總督府よりも公式にその不法を指摘し交渉中とも云ふ▲東拓として現制度は鮮内の社務を進める上に於て不便あり結局京城を總支店格に昇し理事を駐在させる事に逆戻りだらう▲日本郵船の専務原田金之助老も來るべき同社の總會までに退任し後進の爲に路を拓くらしい日本にある重役前後三十餘年同社の今日をなすにはその力大いて與つてゐる▲朝鮮郵船の方は取締役會長となつてゐるか此方は未だ從來の儘▲だこ金融梗塞財界死化でボツく頭を下ぐる向きが出て來た▲唯今までの所倍ほ小康だから影響も輕い危まれてゐる大事が出ださねばよいが

人事消息

▲城津郡院長 成興慈惠醫院長[illegible]に一泊せし氏は十七日來元[illegible]務の上十八日發歸城（元山[illegible]）
▲横田法務局長は十八日咸興[illegible]來元し一泊視察の上十九日[illegible]

開鑿ミ外人排斥
…に於て排日決議を通過せり（香港電報）
東支鐵對日本軍行動獄策
七日目取組
阿蘇嶽
氣象日報（十九日）
天氣豫報

連絡貨物概況　客月中

門管釜山營業調査所

四月當所に於ける貨物輸送狀況を前年同期に比するに發送噸數五、六八〇噸にして前年の八、七二三噸に比し三、〇四三噸即ち約三割四分九厘到着噸數は前年度の三、五九六噸より二、〇一五噸に降下し差引一、五八一噸即ち四割四分何れも減少にして運賃收入に於ては四二、六五一圓にして之を前年同期の五一、五一七圓の比し八、八六六圓即ち一割七分一厘の減少にして等しく金融梗塞、物資移動の澁滯に依り近年見ざる不振を招來せり

貨物著發狀況 は前月來既に不勢の傾向を生じ本月上旬に於ては兎も角既約品の輸送を以て底入ながら尙ほ一縷の生氣を看取され移出に在りては奥地中繼貨物の船腹剩餘を補充するを得從來他船便に據りし豆粕及び綿貨の變更說に努め稍見るべき寂蹟たりしも中旬以降は經濟界の急轉直下の變調に物價は凡て氣迷ひ商狀を現出し手合せの杜絶と共に貨物の出廻り全く沈滯の姿となり移出穀物の澁頓大阪生產品包裝用品、木材等の移入激減を來し貨物專用船の定期運航の必要を認めざるに至り年度初頭に於て前掲の如く殆んど痛擲的不振を結果し將來と雖も大勢の赴く處又如何ともすべからず海產物の出廻り季を目前に控へ輸送界一段の緊張を要すべき秋に際し而も時潮は抗すべからず昔日の盛況を挽回すべくもなく引續き閑散裡に推移すべきか。

發送貨物中 米は正米の斷落、定期米の明近安の一方に押し進み會々檄頭するも其の安値を見返す上鞘を演出せずし玄穀の買付けを一層鈍らしむるの素因を作り移出の大部分は糯白米にして吳工廠需要品一、一七二噸を殘さし直方著炭坑用四二四噸辰野二二〇噸商谷一〇噸等纏りたるものを除き北布屬域例月に比し頗る縮少され三、一四五噸一、九〇〇四圓を發送し前年同期の五、二八〇噸三、四二四圓に比し二、一三五噸四、四二〇圓の減少なり、大豆又相場の墜落に移出品の激減を招來しさなきだに一般海運界の閑散に際會し盛んに侵奪を蒙り僅に三、六九噸三四八圓に止り前年度の一、七五九噸一四、九一七圓に比し實に一三、九〇噸一、五七九圓の減少にして木浦の鐵道輸送は米の割安運賃に據るに比し負擔過重の嫌ひあり且殆き他船の喰入深甚を極め各々不振に陷るべきも、臨干魚は例年出廻最も稀薄なる端界終末なるも本年は四圍の商況沈衰は一層不振の度を强め一三四噸五三九圓にして前年の二二四一噸二、二〇九圓に比し一〇七噸一、五七〇圓を減少せり、鮮魚又前年の二九五噸一、五二五圓より二〇三噸一、六八二圓に降下せり海產肥料は先月以降生產品に對する先物契約織にて前年度の四三五噸二、四二三圓に比し本年は二〇八噸一、二八五圓に減じ獨り豆粕肥料の前年度に比し二九三噸二、五四八圓を增加し三〇七噸二、五九〇圓を發送し鞭、牛骨等其他肥料に屬するもの七四五噸六、九二二圓前年度に比し三三一噸三、六二五圓を增加せるは前掲船腹充實策として他船便を變更せしめたる餘慶にして其他一般不振なりき。

到著貨物は 綿絲布の恐怖的慘落に業界を通じ見送りの商狀を呈せしを魁とし一段貨物の移入激減し包裝用叺及び繩の如き穀物の移出鈍狀と相待つて前年度の一、五〇六噸より一、二二〇噸なる意料外の減少を來たし僅に二八六噸の底入狀況を示し木材は既約品の受入に止まり一九六噸前年の四三〇噸に比し二三四噸を減じ特に不景氣來の表徵と見るべき和洋酒は僅に六噸の移入ありしのみにして前年度の一二四噸に比し一一八噸を減じ綿絲布は前年度の二六五噸より九〇噸に激減し其他悉く減退の運命に逢著し又前年來の旺盛を見ず引續き入津量減退すべきか。（釜山）

義州管見

五月十一日　松原榮

△平北の首府たる義州は位置及び地勢の生みたる朝鮮西北端の一邑に過ぎざるも、米の史跡、肚遊樓、孔子廟等殊に高すべからざるものあり、日露の兩役に於いて全く名は實に樂きたるもの、日露の兩役に於いて全く名は實の審ひなりたる統軍亭の名蹟あり、歷存する名公文人の扁額、亭軒檻間の彈痕、僅かに吾人の懷古を深く、義州の地名を刻せしめ候。

△平安北道廳 ありて、仮尾藤次郎氏現知事たり、私は訪問して敬意を表し候、長官としての氏、治績の如何、之を論評するは敬意を缺く恐れあり、差控へ候、蓋し財政に當局者を苦しめつゝあること恰も手と足とを總つてステテコ踊りを踊ると云ふが如き感あれば何處も同樣ならんと視受け候、此の地に道廳あるは隆熙三年觀察道を寧邊より移して平北を管せしに因ることのこと、爲政上之を移して新義州に置くの利且つ便、今更時期を待つの必要毫もなかるべければ、一日も早く當局者の斷行を切望する次第にて候

△義州の人 を視るに、其數內地人三百十七戸、九百二十八人、鮮人七百八十一戸、九千五百八十八人、支那人六十五戸、二百四十一人、計二千百六十三戸、一萬七百四十九人なり、內地人の八分は官公吏及び其家族にして、農商工は僅にその二分に過ぎざる事に候、官民中重なる人を列擧すれば左の諸氏にて候

平北道知事仮尾藤次郎、平壤地方法院出張所長福原敬一、憲兵隊長松倉清次郎、憲兵分隊長高橋谷吉、警察署長南保七三郎、守備隊長野澤憲三、慈惠醫院長有馬長次郎、小學校長樋口榮識、普通學校長荒井亥之吉、農學校長小松敬吉、朝鮮銀行支店長宮崎匡煇、金融組合理事長木島勝義、金融組合理事關朝雄、面長鄭敏輔、前田靜次郎、稻見德太郎、崔熙淳、朴用福、學校組合議員猪ノ口斗一、岸井熊一、福田周光

△義州の物 を視るに、一ケ年の輸移出穀物二十二萬五千圓、畜類四十三萬二千圓、輸移入雜貨七十萬圓、計百三十五萬七千圓にして、毎月陰一、六の日六回開市して取引を爲す、而して雜貨の輸移入は多く支那商人の手に囑し居り候、產業としては平北柞蠶會社安藤達二氏の生產せる四千斤の柞蠶絲四萬八千圓、人和泉洪鐵老氏の釀造せる醬油八千圓、其他日用品雜貨工業約十二萬圓あるのみ、當局者は畜產及び農事の獎勵に力を致さるゝも智識低級のもの相手なれば期待に添はざること多かるべく視受られ候

△人と物との關係 に必要なる經濟的機關を視るに、交通機關に於ては自動車（三）馬（一〇）輿（一五）牛車（五）の設けあり、た九龍浦を經て鴨綠江上高瀨舟（約五百）支那式克船（約二千）の便へあり、電信、電話の通信機關も完備しあり、以て便を缺かず候、金融機關には殖銀支店（貸出金百三十萬、預金四十三萬圓）の外義州金融組合、預金金融組合、義州貯金會も有之候、此の地は此頃の經濟界の波瀾には更に關係なしとのこと、或は波動を受くべき資質の足らざるが故にては無之哉、總ての官公署、學校、宗敎、神社等諸機關の備はらざるものなく、衛生上の施設も行き屆き、道に道廳の所在たることを首肯せしめ候

△御大典記念 として統軍亭の周圍一萬坪餘の地をトし、大正元年に土木を起したる義州公園あり、花樹林木を植て風光を添ゆ、白馬山、金剛山の遠望、鴨綠江の瞰下、九連城の指呼、樹間帆船の隱見等顧望と相對して賞すべき風致にて候、私は此の御大典記念公園に於て遙かに東方を拜し御大典勅語を謹誦致し候

以上　私の視たる義州にて候

鎭市場と鮮人

安東信託公所に出入する鮮人は近來非常に增加したるが其の間の消息に就き某仲買人の語る處を聞くに數ケ月前までは朝鮮人の銀相場に手を染むるものは至つて尠かりしが銀相場の何者なるかを諒解したるかの如く客人の大半は朝鮮人にして主として平壤以北の鐵道沿線より來るもの頗る多く各朝鮮人旅館は是等の相場師の爲め滿員の有樣なりと因に此の數ケ月に於ては支那人を向ふに廻し何れも實に掛けて鮮人の多くは莫大の利益を得たる者の如し（安東縣）

慶北漁撈船舶

大正八年度末調査に依る慶尙北道內水產使用船舶數は二千八百五十五隻にして內漁業及び發動船に從事するもの朝鮮型內地人所有一隻、鮮人所有一千六百七十五隻、日本型內地人所有七百七十三隻、鮮人所有二百二隻、水產物製造運搬に從事するもの朝鮮型鮮人所有七十二隻、日本型內地人所有廿九隻、鮮人所有五隻、發動船內地人所有三十九隻、鮮人所有六隻、貿買其の他に從事するもの石油發動機船內地人所有五十三隻なりと（大邱）

學校組合に對する意見

學校組合議員候補者　大垣丈夫

來る六月九日京城學校組合議員の改選に當り余は從來三ケ年間學校組合議員として歲入歲出豫算を審議したる經驗に徵し尙ほ將來の施設希望を開陳し玆に選擧人諸君の賛否如何を問はんと欲す

京城に於ては就學兒童は年々增加し經費は物價の騰貴に伴ひ歲々膨脹するを見る若し斯くの如くにして漸次增加せば遂に二部敎育を施すか或は敎員の俸給を全部國庫の補助に待つの外なしと認む大正九年度歲出豫算は物價騰貴に依る經費の增加と職員以下臨時手當を本給に組入れたる等の事由に依り經常費金五拾萬零六百四拾貳圓臨時費に於て小學校及高等女學校入學者の增加並に設備改善等に依り金拾九萬九千九百五拾四圓を計上し歲出合計金七拾壹萬零五百九十六圓に達し前年度に比すれば實に貳拾參萬六千六百參拾參圓を增加するに至れり而して此等多額の經費增加に對し國庫補助金授業料賦課外諸收入に於て幾分增加を見たるも其不足額五拾參萬七千參百拾六圓は戸別割を增徵して之れが財源に充當せんとする原按なりき是に於て予等出席議員全部を委員として詳細に涉りて審査討議すること、し余は委員長として連日連夜調査に從事したり委員諸氏と共に査定に努力したり一例を擧ぐれば臨時部高等女學校費中運動場擴張及增築費七萬二千六百六拾四圓を削除したるが如き是れなり其理由は組合負擔の擴大を慮りて之る現在の高等女學校の位置は適當ならざるに付此際運動場を擴大し及び增築するよりも寧ろ他に適當なる敷地を選びて轉し同敷地を賣却するの有利なるを認めたるに由る斯くの如く其按に對し數多加除修正を加へ遂に戸別割賦課總額を四拾六萬四千八百二十一圓に減額したり但し議員は豫算刪減を以て能事とすべきにあらず當然の經費は固より支出するを惜まず要は唯緩急と得失を比較商量して原案の施設希望に就ては學校は新築主義を執らずして增築主義を保つ爲めには且つ戸別割賦課の公平を期し各組合に照會して本意見を參考に供する等各種の方法を設定するを要す其他學校移轉問題等本財產造成問題等各種の抱負の實現を期し今回再び候補を宣言したる次第なり敢て選擧人諸君の賛否如何を問ふ。

慶北新稅成績　客年中狀況

［illegible］二名を選び一箇月の豫定旅行す
△內地人を以て組［illegible］

慶尙北道昨八年度に於ける租稅［illegible］稅務に至大の惡影響を及ぼさんことを［illegible］嚴重なる督勵を加へ［illegible］るが如きことなからしめ（二）徵收金の保管送納及び［illegible］其の結果は［illegible］稅額を通じ［illegible］市街地稅及び酒稅煙草稅の一納期を除［illegible］八萬七千七百十二圓に對し［illegible］七千三十人金額二萬二千六百七［illegible］の滯納を示し［illegible］僅かに四人に過ぎず而して市街地稅、酒稅の成績不良なりし事由を調査するに［illegible］を生じたるものと認むる外特殊の事由を發見せず酒稅に於ては逐年其の許可業者を增加せるも［illegible］增加したるに外ならず而して其の未納額の整理も漸次進捗し此［illegible］納期限以前には勿論全部の完結を期し居れり（大邱）

［illegible］るが天草生れにて貞操を擲へず［illegible］何日しか同家に出入の田淵某と不義の契りを結びたる爲め離婚され此程前記實家に戻りたる［illegible］午前四時家人の熟睡中を窺ひ［illegible］天方面に逃亡したる形跡ありとて實父より搜索保護願を其筋に願出でたり

新西方の面々(下)
優勝旗の爭奪と番附面の入れ替へで
興味を唆る今場所の大相撲

大正二年五月に入幕して一時は可なり名を成した宇都宮は出羽の弟子で此の强力は確かなるものながら取口の拙劣は遂に成功を妨げて今猶中途に逍遙してゐるのは同情に價するかも知れぬ栃木の出身で年既に三十二歳に達してゐる

五尺九寸 の身長で二十七貫の體量を有し上突張ハタキ込を以て得意としてゐる前名一の駒こて井筒の弟子たる宮城山は恰も車井戸の釣瓶と同じく近頃盛んに上つたり下つたりして居るが齡は餘り香氣にもされぬ

三十二歳 である宮城の出身で五尺七寸二十四貫の體格が持つてゐる大正五年一月の入幕で鐵砲が其の得意らしい入間川の門弟で當年正に三十二歳こいふ大兵な體格の所有者こして一時は大關の地位を占めたる

九州山も 不似なる哉遂に小結に蹴けられ再び大陷落して遙か前頭の末席に坐し猶衰退の色深きものがある大正四年五月の入幕にして其得意たる左四つ突ツ張も其功漸く減退せるの感あるは寔に同情に値するであらう伊勢の弟子で忽ち十一枚を突破して大正八年一月十兩の四枚目

躍進した る摩耶颪は今回更に出世して入幕するに至つた之は常年二十三歳の壯年にして神戸に於て呱々の聲を揚げたものである出羽の弟子で一は多少の望を託されたる友の浦も何だか近頃は滅切り元氣を失つて僅かに幕內に名を見てゐるに過ぎぬ感がある岡山の出身で未だ年齡二十八歳こいへば

前途洋々 たるものがあるではないか五尺五寸二十四貫こいふ身體の持主で漸く昨年の一月に入幕した計り大いに奮勵しなければ殿下陷落の悲運に陷るであらう押し叩き込みは大の得意とする處らしい大正五年五月入幕して以來餘り振はぬ遠の矢も出羽の門弟で前名は梅川こ云ひ

粹な名前 の持主であつた山形の出身で當年正に三十四歳五尺九寸二十五貫こいふ體格を有し乍ら此儘終る氣でもあるまい上突張を以て得意として居るらしい出羽の門弟で可なり囑望されてゐた御西山も聊かだれ氣味ではないかと思はれる最早三十歳こいへば

年に不足 もあるまい大正七年五月の入幕で五尺六寸二十五貫の身體を持て餘す樣では仕方がない得意の左四つで飽し鄉里茨城に錦を飾らなければなるまいに、岩木山は師匠の名を襲いで清見潟を名乘り出したが此頃の不成績では

名前が惜 しい當年三十一歳で五尺七寸五分二十七貫の體格を有し左四つ下手投げが得意らしい栃木の出身で入幕は大正四年の五月である(東京支局)

東京 大相撲夏場所
五日目勝負

十八日は中日こて稍油が乘り飜大に拘らず觀客川足早く正午前已の盛況なり勝負如左(東京特電)

能代潟 押し出し 清見潟
鶴ヶ濱 吊り出し 大の高
太刀光 踏み切り 若葉山
摩耶颪 寄り倒し 琴ヶ浦
若湊 叩き込み 大鬼
九州山 極め倒し 綾鵬
小牛田 寄り切り 逆鉾
紅葉川 腰砕け 駒泉
三杉磯 寄り切り 大門岩
兩國 渡し込み 千葉ヶ崎

大錦 持ち出し 阿蘇嶽
土州山 押し切り 遠矢
射水川 押し倒し 御西山
東雲 吊り出し 白岩
矢筈山 押し切り 釋迦嶽
大戸平 押し倒し 友の浦
福柳 上手投げ 黑瀨川
藤の川 極め倒し 宮城山
大潮 內無双 大の里
源氏山 叩き込み 阿久津川
栃木山 寄り切り 清瀨川

▲能代潟こ清見潟は双筈の押倒して能代の勝ち▲鶴ヶ濱に大の高は右四つに組むや素早く吊り出して鶴ヶ濱の勝ち▲若葉山に太刀光は太刀敵の右を手繰り若廻らんこし踏切り太刀の勝▲琴ヶ浦に摩耶颪は突き合ひ右四つに組むや素早く寄倒して摩耶の勝ち▲若湊に綾鬼は突き込み若湊の勝ちは流石老功なり▲大鳴門に九州山は九州敵の急き立て右差し寄るを極め倒して九州の勝ち▲小牛田山に逆鉾は小牛田敵の左差しを摑め右を引くや直ぐ寄切りて小牛田の勝ち▲紅葉川に駒泉は駒猛烈に突き合ふ中腰砕け紅葉の勝ち▲三杉磯に大門岩は右四つ三杉遮二無二寄り切りて三杉の勝▲千葉崎に兩國は突き合ひ右四つより左四つ千葉の內掛け寄るを兩右手より渡し込み兩國の勝ちは大喝采▲阿蘇嶽に大錦は阿蘇二本差し大錦双手にグツト抱へ强引に持ち出し大錦の勝ち

中入後

▲土州山に遠の矢は左筈一氣に押切つて土州の勝▲大戸平に友の浦は大戸右筈一氣に押しての勝は呆氣なし▲福柳に黑瀨川は右四つ福の上手投げ美事極つて福の勝▲藤の川に宮城山は腰敵の二本差しを円こに極め倒して藤の勝▲大潮に大の里は右四つ里の外無双を潮殘し內無双美事つて潮の勝▲阿久津川に源氏山は源氏敵の出鼻を叩き込んで源氏の勝▲清瀨川に栃木山は栃木の二本差寄るを清瀨殘せしも遂に寄り切つて栃木の勝(打出し七時)

六日目取組

(能代潟 土州山) (友の浦 若葉山) (一 湊 白岩)
(宮城山 黑瀨川) (御西山 小松山) (東雲 矢筈山)
(釋迦嶽 大鳴門) (駒泉 清瀨川) (大の里 千葉崎)
栃木山 大潮 (清見潟 射水川)
(遠の矢 阿久津川) (摩耶颪 小牛田)
(九州山 大戸平) (福柳 若湊)
源氏山 兩國
阿蘇嶽 三杉磯
(大錦 藤の川) (大門岩 紅葉川) (大の高 鶴ヶ濱)

外相邸爆彈事件公判
六月三日開廷

外務省爆彈事件の犯人淺谷三吉に係る爆發物取扱規則違反被告事件公判は十三日東京地方裁判所刑事第二部法廷に於て開廷の筈なりしも辯護人の都合上延期こなり次回は六月三日開廷の筈なり(東京電報)

夏マント 永生

近頃は夏マントと云ふ聞いた丈けでも暑苦しいものを着用に及んで悠々大通り等を散歩されるお方を拜見する。何れ何々會社の重役テな豪い人達だらうが、この暑いのに、風采をよくする爲とは云ひ乍ら御苦勞樣なことである。

古着の激落
殆んど取引休止の狀態
質流れの處置に窮す

投機競爭の狀態にある吳服物の影響は古著の價格を崩落させて取引休止の悲境に陷いり たが毎年買出しに來る

奧羽北海 道地方、名古屋以東各地の古著商が夏物買出しを一齊に手控へ擱めそれを目的に瓦落以前に買込んだ夏物を抱へて弱り切つてゐる古著商が頗る多くなり從つて問屋筋では五割安で取引しても小賣では

急に低落 して來ることを張つてゐたが東京古著市場組合事務所員は語る『小賣値は和服で三割乃至五割洋服で一二割の下落を來してゐるが問屋仲間の取引では洋服でも五割から下つてゐるそれに最近は質流れが激增してゐるのに買つても捌ける見込がないので

古著商が 買出しを中止してゐる此分で行き彼古著は悲境に陷るのだが絹糸でも復活して高價を唱へぬ限り九月に入つたらドン底相場を現出しやう、しかし盆の如きも手な流れ續出で絹綿の前途も樂觀は出來ぬから當方は警戒に怠らない(東京)

女奇術師(五)
松旭齋天露の告白

人としての苦しみと藝人としての誇りと變態なその性格と!

人情奇術と趣味嗜好と

彼等=女藝人の群に對して、男が常に誘惑を試みるやうに、彼等も亦男を慰みものにして興がることがある。例へば樂屋內で、他の女と何か賭けやうと云ふことになる。=一週間內に男を落して見せると云ふやうなことを=。斯うした

賭けをした 場合には、自分が舞臺に立つた時、先づ觀客席に居る客の中で、誘惑し易い男を物色する。目的の男が見附かつたら、什度の間々なごにジツと男の顏を凝視る。さうすると大抵の男は多少はその

魅力を感ず る。それから少し首を傾けたり媚を含んで見せたりして『何處かで見たやうな人……』と云ふやうな

思はせ振り をして見せる。それでも先方が感じないと見ると、奇術の材料に事づけて、ハンカチを借りたり、帽子を借りたりしてその男に近づく。その藥が効いた時は大抵

其翌晚位に 男が再び觀物に來る。さうして前夜の場所近くか或は目立ち易い所に居て、女の視線を索かうこする。斯うなれば占めたもので、女は前の晚より以上にその男に媚み送る。さうすると男は大抵每晚のやうに來る。そして遂には

樂屋訪問と 出掛る。つまりマンマと賭の材料になつて、色男を氣取ると云ふお目出度い男も尠くないさうである。之は天露が人情奇術の種あかしである。

× × × ×

天露の趣味嗜好はすべて男性的であつて、殆んど女性的の優しいところがない。彼女は馬に乘る。自轉車を操る。球を撞く。酒を呷る。力士が好きで俳優が嫌い。斯う數へ立てると少しも

女らしい好 みはない。中にも酒は彼女の生命ださうである。どうかするこ朝から酒を呷つて、殆んど食事を採らないことがある。そして飮めば隨分奇拔な事も行り兼ない。先年大阪と南鮮で一座した時などは

飮んだ勢ひ で、他の男三人と一緒に化けて遊廓に押しかけ、二晚目に相手の娼妓に女だと云ふことを看破されたこともあるこか。その時なごは帽子も外套も言はずマントも脫がないで澄し込んでゐたので隨分苦しかつたさうである。それから或時は

汽車の中で 醉つぱらつて、帶に挾んでゐた銀側の懷中時計を掏られたが、大抵見當をつけて掏摸に尾行し宇都宮驛に下車して、掏摸の泊つた宿に押し掛け、談判の結果その掏摸から散々脅かされて金時計一個を貰つて追ひ返されたが、その金時計は遂に戎孤兒院に寄附したなどの珍談もある。

義太夫界

▲和太夫と政糸の稽古場は目と鼻の間にあるが夜々妓館屋つたやが其中に挾まつてゐるので『應八釜しいだらう』と聽いて見ると『さうでもありませんよ』▲二三日前の夕方組太夫の宅へ鍛冶井が持つて來た丁度茶碗の話太夫『連中が氣を利かしたのだらう』と早合點して舌鼓みを打つてゐる處へ餞屋から勘定を取りに來たのでよく訊ねて見ると竹本道ひさ分り『オヤ〜』▲今度一門道ひさ紋系改名披露會へいろは俱樂部、鹿島道樂會など大分目新しい連中が出るので定めて賑ふだらう▲東京新聞記者節の淨瑠璃會は或る筋から惱んでゐるらしいが何れ近く擧げるだらう

◯旭晴歡迎琵琶を聽く 法圓山 青尾旭晴女史歡迎琵琶演奏大會は旭映會の主催で十五日夜明治町淸香園で催された。本多旭映女史は門下一同を率ひて出演し『那須の與市』を演奏したが圓熟の技は愈々冴へて居るだけに一層氣を入れて聽かされた。當夜は臨時會員を加へて居た。吉尾旭晴女史は宗家の稱と云ひ彈法と云ひ鮮かなもので殊に心地よい程ばかりに切つた彈法は際立つて居た。當夜の『壇の浦』も源平の哀れを語りつき、平家の末路を語る哀調には滿座咽泣するやうであつた。旭峰旭雅旭春等の旭映門下が孰れも熱心に其技を研究して居たのも頗る床しく野次一つ出ぬ隱床の靜寂も嬉しいものであつた。

■關釜連絡船

發 朝・六、四〇 夕・八、三〇
二十日 朝・壹岐丸 夕・肥愛丸
廿一日 朝・對馬丸 夕・新羅丸
廿二日 朝・壹岐丸 夕・昭愛丸

連絡船上陸客

十八日朝入港壹岐丸一、二等客 安福男、同寧世、同素彥、同恭子、[illegible]年男、鈴木昇一、倉重鍛、三好常司、相野菊太郎、河合常七、森元一つ、吉田活夫、野村寫、同しつ子、[illegible]谷崎茂樹、工棟佐一郎、外人六名 熊、熊谷末吉、柳原こめ、山本伴四良、三天、吉田正衛、堀井錢三、[illegible]二等(八十五名)深澤正章、辻善三郎、田和稔幸、品川米子、同さ[illegible]菊地源造、外人八十名 三等(四[illegible]) 同さつき、同はつ、同徹子、目[illegible]子、森脇英三郎、山崎眞太郎 百四十七名 加田平三郎、田中喜[illegible]、木村良[illegible]、岡みち子、張田徹郎、非江散七 十八日夜入港對馬丸一、二等客 [illegible]

刑事と詐稱し

大金を騙奪す [illegible]

嫁を毒殺して死なんと企つ

[illegible]

府協議會ノ諮問ヲ經朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ府吏員俸給條例中左ノ通改正ス
大正九年五月二十日
朝鮮總督府京城府尹 [illegible]
京城府條例第六號
大正三年京城府條例第七號府吏員俸給條例中左ノ通改正ス
第三條中『百圓』ヲ『二百五十圓』ニ『百二十圓』ヲ『三百圓』ニ改メ
二條稅事業ニ從事スル府吏員ニハ一人ヲ限リ月俸『九十五圓迄』ヲ削ル
第四條中『三十五圓』ヲ『百圓』ニ改ム
第五條中『以內』ヲ削ル
附屬別表ノ通改ム
附則
本條例ハ大正九年四月分ヨリ之ヲ適用ス
本條例施行ノ際ニ於テ其ノ給料額ヲ定ムル者ノニ限リ第二條ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得ス
別表

級別	月俸額	級別	月俸額
一級俸	百八十圓	八級俸	九十圓
二級俸	百六十圓	九級俸	八十圓
三級俸	百四十圓	十級俸	七十圓
四級俸	百三十圓	十一級俸	六十圓
五級俸	百二十圓	十二級俸	五十圓
六級俸	百十圓	十三級俸	四十圓
七級俸	百圓		

博多取引所仲買人
首藤定商店
電話長一四二二番 一三八番

天下の銘酒

ユウクン
發賣元
首藤京城支店 電話一一七一番
首藤釜山支店 電話三四三番
首藤博多支店 電話八八番

往診 自午前八時至午後十二時 花柳病は特に夜間診察
宅診 (午後一時以後)
仁川仲町一丁目(仁川俱樂部隣)
壬生醫院
入院隨意 電話六一六番
喀痰、血液、糞尿其他細菌的檢査診斷の需に應ず

京日案內
X光線科、RS式デアテルミー科、外科、花柳病科新設
仁川(電話一五六番)
井上醫院

電話讓リ受ケタシ
仁川山手町三丁目
內田英市商店

男女事務員及外交員募集
履歷書持參を要す
永樂町二丁目七十二番地
京城日新聞社 電話一六三三

寫眞技師至急入用
長春 藤坂寫眞館

古本無比高價買入
是非御試し乞ふ
御報早刻參上
本町二丁目
電話三九五 群書堂

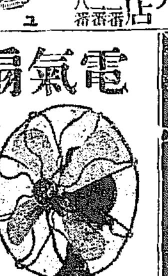
古本高價買入
速報參上
本町二丁目
電話八六六五番 振替京城參三七
文光堂 本店 支店

蜜蜂分讓
蜂具一式
城西四軒町 森養蜂園

ほねつぎ うちみくじき
一切の治療御依賴に應ず
明治町 柔術道場

建築の準備整ふ
セメント、石灰
便利瓦フエルト、木材
新義州木材株式會社中鮮代理店
朝鮮京釜線太田 富士材木店
電話長一六三番 振替口座一一九五番

衛生家 農家 必需品
京畿道警務部御許可 總督府並ニ各警察衛生係御用品
蠅滅 一名ハイトリサン
一ケ金二十錢 送料十五ケ迄金十八錢
蠅の蝟集する處へ撒布せば本劑の偉効驚かさるを得ず其他蚤、虱、ピンデ、油虫にも有効
京城日報社代理部
振替京城三〇〇〇番
電話長六千十九番 同構內廿四番

電氣扇

多數入荷
京城長谷川町
合資會社 ヒオキ商會
電話一〇式貳番 振替京城六八二一番

滿鐵 船車連帶輸送
澤山 釜山…阪神間…定期航路(一ケ月六往復)
就航船…山光丸…と…十一宇和島丸
株式會社 澤山商會釜山支店
釜山大倉町六番地

首印 平板入荷
他に浪板各尺共持合居候
京城本町三丁目
佐藤牛次郎商店
電話二四二三番 電略(サト)
振替口座京城一貳一〇番

內科 小兒科
村上病院
院長 醫學士 村上龍藏
京城永樂町一丁目(商品陳列館前)
電話六一參番

いやでも治る りん病七日藥
(申込次第急送す)
永年實驗の結果强度の藥で胃腸腎臟其他に害なき事を保證す
化學作用早く治る不思議の藥七日間服用せよ代金貳圓五拾錢
○○○慢性の淋病 膀胱加答兒 婦人こしけ
○○○急性の淋病 男子睪丸炎 子宮內膜炎
○○○女子の淋病 尿道の狹窄 痲毒症一切
本舖 大阪市堺筋八幡筋電停北 山口藥院

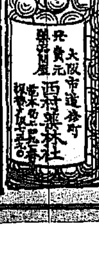
酒は仁川
仁川本場の銘酒は 花郷
吉岡酒造場

普通病室隔離病室の設備あり
京城西小門町一二番地
田中丸病院
院長 醫學士 田中丸平治
副院長 醫師 上野和夫
【入院隨意】
第一病棟用八八五番 第三病棟用二一番七八

登錄商標
總ゴム靴

▲品質强靭 ▲價格低廉 ▲體裁優美 ▲步行輕快
特價
普通形紐無 金參圓八拾錢
紳士形紐付 金四圓五拾錢
編上ゲ深 金五圓八拾錢
(送料共)
御注文は足袋文數御記入の上ハガキにて御申越次第代金引替にて直送す
本品の眞價は既に世の評定あり。一度御試用の上他の類似品と御對照を乞ふ
總ゴム靴製造販賣專門
川口護謨商會
京都市(東川)新開ノ町二條南入(振替大阪二三七一五番)

健腸長壽藥
グリコラクチン
舊傳染病研究所 千秋醫學士責任製劑
本劑は最も有力なる乳酸菌並糖化菌製劑にしてメチニコフ博士主唱の健腸長壽劑なり即ち本劑の服用は早老性病因となるべき腸內の有毒菌を撲滅し異常醱酵及腐敗作用を制止するを以て諸種の腸疾患治療藥として近時盛に賞用せらる
本劑は細菌學的生活體なるを以て製劑上の責任に對しては千秋醫學士之を保證す。
定價 粉末廿五瓦入(金七拾錢)百瓦入(金貳圓參拾錢)
錠劑五十錠入(金七拾錢)百錠入(金壹圓參拾錢)
各送料拾貳錢 說明書進呈
京都市下京區古川町三條下ル
發賣元 日本新藥株式會社
特約店 京城本町四丁目 宮本千粒堂藥局

優秀ナル淋病內服藥
ゴノチール

(說明書郵呈)
◎極メテ合理的ニ創製セラレ彼ノ他強ナル洗滌等ノ副療法ヲ要セズ單ニ本劑ノ內服ニ依リ淋病、膀胱、尿道炎等ニ對シ遺憾ナク治療ノ目的ヲ達シ且何等副作用無キ最モ卓越セル一新劑ナリ
(各地有名藥店ニアリ)
三拾球入 七拾錢 六拾球入 壹圓卅錢 百貳球入 貳圓
發賣元 大阪市道修町 西村藥林社

脚氣貴重藥
エクイミン
本品は岩田氏多年の研鑽に成り用量僅少副作用絕無にして而かも奏效確實且つ迅速なるは一度實驗せられたる各位の激賞せらるゝ所にして實にあらゆる脚氣疾患に對する理想的貴重藥なり。
▽六錠二圓 ▽十八錠五圓 ▽粉末あり ▽各地藥店にあり
說明書郵呈
東京內幸町
旭藥品工業株式會社
特約店 東京本町 田邊元三郎店 本石町 中村合名會社 大阪道修町 鹽野義商店 伏見町 日本藥品洋行

安いから飛ぶ樣に賣れる新靴投賣品

季節向ズツク平靴
陸軍式赤靴
一枚甲深ゴム靴
專賣編上ゴム靴
中古靴此靴ニ限リ
一號 貳圓五十錢
二號 五圓貳十錢
三號 七圓八十錢
四號 參圓八十錢
下等 壹圓五十七錢
特等 貳圓五十錢
八圓 參圓
其他品ト 四圓
中古品價格良ナ 長靴平長靴
有之候間御取揃 拾圓
御注文の際は正確に足袋文數御通知アレ
下度候東京本鄉眞砂町三十七
新古靴卸小賣 倉持靴問屋
振替東京三〇一二九

最高の品位 標準的價格
尚美堂の寶飾品
御金銀盃

尚美堂寶飾店
大阪淀屋橋

山君榮、同いね子、同萬作子、[illegible]針太郎、[illegible]、片倉勝衛、西[illegible]、久保[illegible]、[illegible]島やす、大比田元治、市原直信、[illegible]、川上重太郎、同そめ、[illegible]、渡邊次郎、鎌原計次郎、同松榮、伊藤學、同きよゑ、阿部信一、佐藤榮太郎、武吉、同、山田[illegible]太郎、荒井金次郎、古川[illegible]、上田菊乃、松本五平、宮[illegible]、同良雄、金子め之助、外人七名、一[illegible]、竹之内[illegible]、本[illegible]次郎、太田美平、同かすみ、同より、一巳、武田[illegible]、[illegible]、小野京[illegible]

伊太利飛行機の京城着は 新義州著陸の翌日

第一梯隊出迎へのため 十九日朝新義州に向へるパウルチ中尉の談

伊太利飛行機出迎の爲め十九日朝新義州に向へる伊國飛行將校パウルチ中尉は語りて曰く

長い間種々御配慮を煩はした伊太利飛行機も、愈々一兩日中に

朝鮮に來翔

する事になりました此機を利用し日本官民各位の熱誠ある同情を感謝します羅馬出發以來途中幾多の故障生じ或は墜落し或は土人の爲め捕へられる等尠からぬ打撃を受けましたもの、、兎に角其第一梯隊なるズバー二臺が無事北京に安着した事を悦ばねばなりません、ズダーは

二人乗りて

先達お國の飛行機が朝鮮に飛んで來た時御覧になつたサルムソンと大きさに於ても形に於ても大差はありません、私が返す返すも遺憾に思ふのはカツプロニー機の來られなくなつた事です、此の飛行機は九人乗りで偉大なものですが、途中機體を破損したり式は

飛翔中火を發して

燒失したりし爲め新義州に行つても其姿の見られないのが殘念であります、私は新義州に參り日本の準備委員森中尉の指示を受け來翔するマシエロ中尉エフラリン中尉を待つ積りで、新義州の飛行場の準備はお蔭を以て完成いたしました、エフラリン中尉は十七日北京著陸目下官邊の歡迎を受て居り、マシエロ中尉は十八日著陸しましたから

一泊休養の

上多分二十日來翔しませう假令遅れても二十一日を過ぎる事はあるまいと思ひます、新義州には二泊の豫定でありましたが一泊に變更しましたから京城著は新義州著の翌日であります云々

マ中尉北京に向ふ

十八日青島を出發

マシエロ中尉は十八日午前十時四十分青島發北京に向へり(青島電報)

伉儷最も睦じき

其後の王世子兩殿下

重荷を下して日本晴の心地がしましたと 國分李王職次官の談

李王世子殿下御婚儀に關する用務を帶びて東上し約一ヶ月振りに歸城した國分李王職次官を京釜線列車中に出迎へると例の温顔に今日は又特別の晴れ〳〵しい笑みを堪へ『滯りなく御慶事を終り

這麼喜ばしい事は有ません

一昨年來三年越しの重荷を漸く下ろして吾々一同は日本晴れの心地がします。何せよ今度の御婚儀は畏れ多い譯ですが我皇室にとつても李家にとつても空前の出來事で桑槿一家の實を擧ける上から申しても此上もない好い範例を示されたものと申されませう。御慶事は御承知の如く去月二十八日に擧げられ二十九、三十兩日に亘り

引續き種々の御儀式があり

ましたが此三日間とも前後稀れの雨天に似合はず申分ない好晴で滯りなく式が濟まされたのは皆々奇蹟のやうに感じました東上の王家宗族の方々を始め各種代表參列者も殊の外滿足の樣子で先發して歸城した人々から當時の模樣を親しく昌德宮兩殿下に申上げたので私の在京中に折返して李王兩殿下殊の外御滿悦の旨通知がありました程で内地方面でも今回の御慶事をお喜び申さぬものはありません之れ皆畏くも

限りなき陛下の大御心に

依るもので更に鮮人特赦の恩命を拜するに至つて唯只感泣致すのみです。其後の世子殿下方子女王殿下の御近狀は他の見る目もお羨ましい程に伉儷お睦まじく世子殿下は日々近衞第二聯隊に平常の如く御出勤になつて居ります。鳥居坂の御用邸は從來男ばかりで女氣と云ふものはなかつたのが方子女王の御輿入と共に櫻井御用係りを首め

六五名の婦人を召抱えられ

たので從來に見ぬ晴々しい陽氣が漂つて居ります。兩殿下の御室其他は一昨年既に竣成し御式に充てた大廣室は昨年御用邸として最早申分ない完全なものになりましたので當分の間はお手狹を感ずるやうな事はありますまい』云々

要路の大官を爆撃せんと計畫中

秘密結社の冒險團檢擧さる

爆藥二十餘個も押收

黃海道安岳郡龍門面東倉里李賢琇の弟李根洙は日韓併合に對し不滿を懷き四十四年西間島に赴き北滿各地を放浪し時には

鮮人學校の

教師となり排日思想を宣傳し昨年三月騷擾事件起るや金を募集し一面平壤の金東植、康聖利、鄭燦道白基賢等と冒險團なる結社を組織し本年三月以來爆彈を以て平壤に於ける要路の大官及び官衙を爆破せんことを企て前記李根洙の兄李賢琇が黃海道安岳郡龍門面に於て鑛山事業に從事するを奇貨とし同人より爆藥ダイナマイト二十五發

雷管二個を

譲り受け去月六日之を携帶して平壤に歸り康聖利に託して保管せしめ實行の機會を待ち前記三名の外高昌熙、金基旭、崔日明の三名を同志とし本月八日午後十一時に軍資金募集の爲平壤府竹典里富豪金南鶴の邸内に侵入せんとしたるを通行人の爲に發見せられ目的を達せず之等の事情より平壤署の探知する處となり本月十一日何れも

平壤警察署の手に

逮捕せられ前記の爆藥も押收せられたるが尚前記鄭燦道は民國二年一月八日附を以て大韓獨立臨時軍政府[illegible]部長盛元より兼通軍經理員の辭令を受け盛んに活動したるものなりと

普選博士結婚

四十三年來の獨身主義拋棄

普通選擧にて有名なる法學博士今井嘉幸氏は此の度四十三年來の獨身主義を棄て大阪東區高麗橋實業家佐伯武一氏令孃タケ子と結婚すべしと(大阪電報)

財界動搖と 流言蜚語

當局の態度 極めて峻嚴

近來内地財界大動搖に伴れて朝鮮の財界も多少動搖し一二新設會社は其株金拂込に支障を來し解散の止むを得ざるに陷つたものもあるが比較的穩かで金融の引締つた位のもので内地の如く影響が甚大でないにも係はらず近來此方面の蜚語を放つ向きが往々ある。當局でも此點には慎重な考慮を重ねて流言蜚語の取締に就ては一層峻嚴を期してゐる現に新聞通信にすら此方面の記事に關しては多少の制肘を加へつゝある程である然るに過般來巷間では漢城銀行東大門支店が支拂を拒絶したとか取付騷ぎがあつたとかの風說を流布するものがある然し全く跡方もない虚構で同行では何等の支障なく本支店共業務を遂行してゐる某警察當局は『此際徒らに財界を混亂せしむるが如き流言蜚語を放つもの假借する所なく斷乎として嚴罰に處する方針である』

ヘーリー式飛行艇

追濱に到著した

近く試驗飛行を行はん 雄姿を横濱に現はさん 獨逸に注文した大型飛行艇も

帝國海軍航空隊にては嘗て佛蘭西に注文せるヘーリー式飛行艇の去月追濱に到著せるを以て目下長浦造船部にて組立を急ぎつゝあるが完成の曉は名和橫須賀鎭守府司令官の臨場を得て試驗飛行を行ふ筈該飛行艇は二百五十馬力の發動機二臺を有し搭乘者四人にて我航空界に於ける最新の飛行艇なり尚佛蘭西に留學中の大西大尉の去月獨逸に注文せる大型飛行艇は同大尉監督の下に作成を急ぎつゝあるが來る八月中旬頃には横須賀に雄姿を現はす筈なり(東京電報)

不逞鮮人 過つて射殺さる

實は自業自得

去る十一日平安南道安州郡安州面[illegible]里農中永案方に於て吳光胤外一名の不逞鮮人密會し朝鮮獨立陰謀に關し密議を凝しつゝありしが同日一時頃前記吳光胤は便所に行き用便を爲し立ち上つてズボンの釦を掛けつゝありし折柄該友の一人が自己の所持する拳銃の裝填を試みつゝありし途端轟然音響を立て彈丸は吳光胤の下腹部に命中し吳は其場に絶命せりと

平壤の秘密結社 共成團も檢擧さる

同志十二名が 大仕掛の陰謀計畫中

平安南道价川郡[illegible]面[illegible]販部長玄基正(四〇)同江東郡[illegible]面漁五里五十一番地總務朴道鉉(四二)同順川郡石灘面西面里財務部長白啓洪(三三)平壤府館後里二十六番地人事部長金昌河(四〇)平安南道成川郡三德面文源里朴敬洙(二四)同成川郡[illegible]川郡厚峴面合面[illegible]領(二八)同安州郡安州面金城里四十二番地金昌涉(三六)同成川郡泉面大下里朴箕熙(二八)外二名は大正八年陰暦十一月頃來

平壤に於て

朝鮮獨立を目的とする共成團なる秘密結社を作り爾來秘密に資金の募集を爲し盛んに在滿の同志と連絡を通じ居るを平壤警察署の探知する處となり其大部分は五月九日平壤府内に於て逮捕せられ尚吳琉鍾外二名は十六日江東郡に於て逮捕せられたり右の内吳琉鍾は逮捕の際官憲に對し

頑強に抵抗

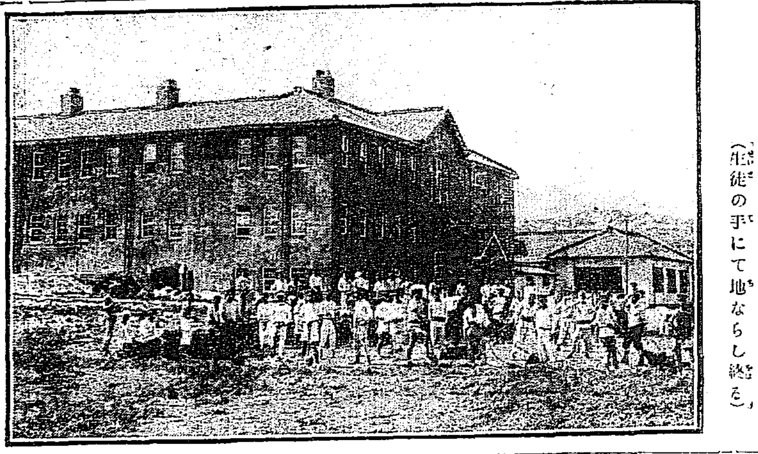
したれば逮捕巡査は短銃を發射し漸く之れを逮捕するに至れり、尚[illegible]販部長玄基正は排日の徒黨故柳麟錫の門弟にして深く漢學の素養あり昨年秋共成團の趣旨書及び規約書等を作製し

之を携帶し

て來壤し平壤府館後里吳召東方に居住し前記同志を糾合し平壤府内の有力者に依つて表面八千五百圓の出資に依る開[illegible]業を企て表面營業を爲し裏面で募集するが如く見せ掛け其實大仕掛の陰謀を企てつゝありたるものなり

今回の檢擧

に際し彼等の押收記錄に依ると軍資金として募集したる金額は三千五百圓に上り支出目錄は主として運動旅費交通費入獄者の差入物品代金等なりと



京城高商の新運動場 (生徒の手にて地ならし終る)

過軍の兵器は新式

其戰法も侮り難い

チタ市外に爆彈を投下し 盛んに宣傳書を撒布す

チタより下關着直に東上せる我派遣軍附某大尉の談に曰く

西伯利に

散在する過激軍の兵器は米國式新式のものにて銃砲の如き照準正確且つ日本のものよりも遙かに遠方が利く樣である又戰法の如きも新法を用ひ其勢猛烈では有るが連絡が取れて居ないので敗れる事が早いチタ西方ボルゾヤに於ける日軍は突の如き中村支隊の爲め殆ど全滅されて終つた位である我軍では目下露人の間諜を使ひ敵の動勢を偵察せしめて居る

一間諜の

言によれば過激派援部隊として尚は一個師團の過軍後方に潜在して居ると云つて居るが信を置くは早計であるから我軍で直接偵察せしめて居るチタ附近に於ける過軍は時々飛行機にてチタを脅かし爆彈と共に宣傳書を撒布して居るが爆彈は決して市中に投下せず郊外に投下爆發せしめて居る

過激思想

宣傳上民心を買ふ爲め市中に危害を及ぼさない樣に努めて居るからである(下關電報)

安東縣の大火

三百戸を燒失し 鎭火の見込立たず

十八日零時四十分安東縣舊市街支那人家屋より火を出し附近に延燒午後二時に至るも鎭火の見込立たず今迄既に三百戸以上燒けたり(安東縣特電十八日午後三時發同七時着)

火の粉八方に飛散

燃燒六時間にて漸く鎭火す 燒死者二名を出し 雜穀類の損害莫大ならん

既報の如く安東縣支那町鴨緑江岸の永安街より十八日午前零時半頃出火せしが敗荷付出乾き切たる事とて火の廻り意外に早く且風強かりし爲め火の粉は八方に飛散し數商所に飛火したる爲め

數町に亘り殆んど火の海と化し

支那側の各消防組、驛、警察、巡廻兵等は勿論安東縣消防組、民團の各消防組應援に必死となり消防に力を盡したるに燃燒六時間の後ち午後五時半一先づ鎭火せり損害程度は尚不明なるも同所は何れも穀物店と稱する雜貨問屋多かる所とて雜穀類の損害多かるべく或は約百五十萬圓位ならんと云ふ者あり

燒死者二名あり

右損害多からんと三井鈴木伊藤忠行等に多少の保險契約ある見込なるが邦人の損害は僅なりと云ふ(安東縣特電)

諸物價ドンドン下落

投賣氣分漸く濃厚

布木商や雜穀商が 最も厳しい痛手を負つた 質屋も大打擊でヘトヘトの態

内地財界動搖に關聯して朝鮮の財界にもソロソロ打擊が現はれて來たので當局及び民間有志は過般來懇談會の名で協議を續けつゝあるが未だ意見が纒つたものもないらしいが布木商雜穀商等は隨分酷びしい痛手を負つてゐるらしく

銀行業者も

其一部に對して非常な恐を抱つてゐる相である。本町の大澤時計店主の談に依ると近來貴金屬類及び各種裝澤品の賣行きが減切減つてゐる特に鮮人側の顧客等は殆んど無い有樣であると云ふが此一事に徴しても朝鮮財界が如何に金融閑塞し引緊り氣味であるかが分かる更に此物價暴落の

甚大な打擊

を受けた呉服太物類に依つて府内の投賣氣分も逐日濃厚になつて行くが質屋の打擊も甚だしいらしい京城質屋組合の橋本茂雄氏の談に依ると綿絲暴落の爲め流質品か莫迦に安くなり然も捌けぬ相である今日府内の各質屋とも入質が多く出質が尠い其上に流質品が捌けぬので

質業者一般

に其金融方法が途絶わてゐる萬一此儘で進んだら質業者は最う閉店休業の止むなきに至るであらう現に東京の小質屋は休業してゐる例もあるので萬一休業の曉には質業者の大問題であると共に一般金融機關の澁塞となり由々しき一大事である如上の理由で目下前後策を講究中であるが兎も角一般物價は

日一日下落

するのは大勢で防止しやうも無く各商組合では協同して大なる破綻を生ぜずにヂリヂリ安に落して行かうと計畫してゐるとか

木浦大火

損害五十萬圓

糀上場より出火

十九日午前二時半木浦竹町木村健太郎の糀摺上場より出火し大田、中上の糀摺上場二棟倉庫七棟住宅一棟及び糀二萬五千石白米六百石玄米五百石叺二萬枚全燒し損害約五十萬圓原因は不火の模樣なり(木浦特電)

塵掃除

闇い裡から

撒水自動車も不日運轉 その成績案外良好

塵埃の都こ云はれる京城府が砂塵防止に就て頭を惱ます事は一通でなく從來の撒水一點張では不充分こし新しい試みこして街路上の砂塵掃取りを思ひ立ち十五日の晩南大門附近に實行を試みたが晝間は交通上の關係から意の如く實行出來ぬので翌十六日は越川府衛生主任人夫十名を引率して

星の光も

疎らな午前四時こ云ふに提灯を點じて作業に從事し約三時間を費して南大門驛から南大門の三角路迄の街路を一筋の塵も止めず清潔に掃除して砂塵は他處へ運搬し目下其成績を實驗中だが効果は案外に良いやうである。府では今後の模樣に依つて市内樞要の街路を經費の許す

範圍内に

於て一週乃至十日間に一回位砂塵掃取の作業を實行する樣子である。尚ほ府では十七日には[illegible]中の撒水自動車の試運轉を南大門より太平通り方面に行つたのだが成績は至極良好だつたので不日運轉を開始する由、尤も南大門一箇所の井戸では用水不足に依り京城府廳構内の

井戸をも

使用する筈で[illegible]中だから實行の上は相當に効果を示す事と思はれる。

大運動會

京城高商の 來二十三日 盛大に擧行

京城高等商業學校と改稱したる元東洋協會専門學校は過般來其内容の充實を圖ると共に新營の校舍を維持すべく其の附近に宏壯なる煉瓦三階建の寄宿舍を新築竣成したが更に改稱紀念大運動會を擧行する事に決定した。何しろ校舍も新築早々の事でもあり運動場すらも所くない同校では十七日より全校職員生徒掛りで運動場地均を爲め約千坪に近い大運動場は僅一日間の内に功を了つた相である來る大運動會はレコードの點から興味的からも有望なるものを擧行する計畫だこ

悪事露顯

米豆檢查等の 五名共謀で米 五萬圓拔取り

金泉警察署にては過日來秘密裡に活動を開始し金泉大和町穀物[illegible]元道米豆檢查員山口縣人森繁重吉(三六)同町穀物商新泉館乘金泉郡金陵面白鐵咋(三四)同町馬場運送店員大分縣下毛郡[illegible]村安部正(二四)同町同店員大分縣西國東郡[illegible]村安部末吉(二〇)同町金泉運輸倉庫株式會社運送部主任惠良藏(四〇)

右五名を

引致し目下取調べ中なるが事件の内容は秘密に附しあるも仄聞する處に依れば同人等は共謀して金泉馬場運送店及び金泉運輸倉庫株式會社取扱に係る米穀約二千六百叺(此の價額約五萬圓)を拔き取りたるものにて右は主として森繁が在職中より大阪朝米相場に熱中して損失したるを補充し

更に成功

を期せん爲め甘言を以て前記運送店員を說き付け大正六年以降常に拔き取り之が補充を爲し居り最近財界の不況に依つて失敗したるより又々多量の米を拔き取りたるものにて出穀皆無の狀態なりし爲依託米の荷主より催促の請求頻々として來り一方在庫品の拂底せし事とて遂に

悪事露顯

に及びたるものなりと而して被害者たる馬場運送店は信用厚き老舗にして店主馬場德十氏は數年來宿痾發病の爲め栢田町に隱居し店舖一切を委任し居たるものなるが同氏は此事件の出來に吃驚し

得意先に

迷惑を及ぼさんことを憂慮し何等躊躇する處なく赤裸々に披瀝して全財產の三分の一を投げ出し極力現品の辨償に努め居れりと尚ほ一方金泉運輸倉庫株式會社に於ても重役の會合をなし其の損害の一部分を

負擔辨償

して迷惑なき樣講究中なりと

着服と搔浚

京畿道抱川郡[illegible]面[illegible]光玉(廿四)は三日午後八時自宅に於て若松洞七七番地金聖徳より女中周旋料として百六十圓を受取着服し續路邊に捕はれたり▲淺井靜(四二)と云ふ乞食は十四日午後六時府内本町三丁目一番地若野光五郞の店頭陳列棚に在りし絹セル一反を掻つ浚ひ現場に捕はれ十九日本町署より檢事局に送致さる

東京大相撲星取表

(○勝 ●負 や休 ×△預分)

東の方

力士					
清瀬川	●	●	○	○	○
鳳	や	や	や	や	や
千葉ヶ嵜	●	△	○	○	○
三杉磯	○	●	○	○	●
大潮	○	○	●	●	○
阿蘇嶽	●	×	○	○	○
紅葉川	○	●	●	●	●
藤の川	○	●	○	●	○
大鳴門	●	△	●	●	○
大戸平	○	●	●	○	△
小牛田	○	●	●	○	○
小松山	や	や	や	や	や
阿久津	●	●	○	●	○
矢筈山	○	○	●	○	●
射水川	○	○	●	○	●
黒瀬川	●	○	●	○	●
若湊	○	○	○	○	●
白岩	●	○	○	○	●
琴ヶ浦	●	○	○	●	●
土州山	○	●	●	●	●
若葉山	●	○	○	○	○
大の[illegible]	●	●	●	●	○

勝星五一、負星四五、預三 引分一、[illegible]星

西の方

力士					
栃木山	○	○	○	○	△
大錦	○	○	○	○	○
常の花	や	や	や	や	や
對馬洋	や	や	や	や	や
源氏山	○	○	○	○	○
大の里	●	○	●	●	●
逆鉾	●	●	●	○	●
兩國	○	○	●	○	○
福柳	○	△	○	●	○
釋迦嶽	●	●	●	●	○
大門岩	●	×	●	●	●
東[illegible]	○	●	●	●	○
綾川	や	や	や	や	や
駒泉	●	△	○	○	●
宇都宮	や	や	や	や	や
宮城山	●	●	●	●	●
九州山	○	○	○	●	●
摩耶颪	○	○	○	●	●
友の浦	●	●	●	●	○
追の矢	●	●	●	●	●
御西山	●	○	○	●	●
清見潟	●	●	●	○	●

勝星三七、負星四九、預三 引分一、[illegible]星

◎市民運動會報告 京城府主催の京城市民大運動會は過般恙なく終了したるが十八日午後四時より京城商業會議所に於て其決算報告會を舉行し本委員長より詳細なる會計報告あり滿場一致にて之を承認し同晩餐を共にし散會せり

◎府内の天然痘 府内孝子洞六六番地李海用(二)は十八日痘瘡に罹り順化院に收容さる

◎本願寺の降誕會 京城若草町本派本願寺に於ては廿一日午前十時より開祖親鸞上人降誕會の法要を修行し後筑前琵琶其他種々の餘興ある由

◎乘馬倶樂部大會 來る三十日黃金町京城乘馬倶樂部の春季大會を開く由

紹介

▲金[illegible]酒金屬商[illegible]市内[illegible]支店にては[illegible]の保護欠減價格等[illegible]の販賣[illegible]壺升場詰の販賣[illegible]回壺升場詰買打入[illegible]千圓を[illegible]朝鮮全道に於て[illegible]七千[illegible]圓の景品附にて[illegible]一本に[illegible]券一枚を添附し來る八月末日[illegible]出し九月五日抽籤をなす由

運動界

記者團新陣容

試合日割決す

京城少壯記者團は十八日巴州亭に於て協議懇談會を開催し陣容其他に就き種々協議を遂げ大々的に各地遠征を試むる事として其計畫を發表したが陣容には二三新顔も見へ昨年に比して一層の堅實味を加へたる觀がある

投 捕 遊 一 二 三 右 中 左

山背(朝通) 森(大京)(京通) 北村(京通) 野崎(京日) 西村(京通) 木谷(京日) 石森(朝新) 寺田(京日) 松本(京日) 北村(京通) 西岡(京通)

補欠 大曲(朝新)、宮崎(朝新)、星(朝新)、[illegible]原(京日)

△團長 牧山耕藏 △副團長 青木戒三 △顧問長 早川元造 △庶務委員 廣木(朝新)、新井(京日) △會計委員 菊田(滿日) △コーチャー 松村(商銀) △林(滿鐵)

◎試合日程

五月廿二日 對工業專門軍
五月卅日 對滿鐵軍
六月六日 對全平壤軍
六月廿日 對全元山軍
六月廿七日 對釜山肥者[illegible]
七月四日 對全仁川軍

商大勝つ

對早大庭球戰

早大對商科大學庭球試合は十六日午前十一時より早大コートに於て擧行された早大側は深川、澤、須山、[illegible]る商大側は川津、大田、北川、[illegible]組を撃破して商大の勝となり午後四時閉戰した早大庭球が斯界に覇を唱へてより茲八年曾て一度の敗戰なかりしに此度の敗戰は[illegible]めて昇格當初の商大軍に取つては誠に好い辛先であつた(東京電報)

野球リーグ戰

朝鮮體育協會野球部主催の第二回チームリーグ戰は來廿三日より開始する事に決定せるが右參加希望チームは來る金曜正午迄に御成町三二番地體育協會事務所又は本町朝鮮商銀本店内松村氏迄に申込むべく其第一回は土曜日夜各參加チーム代表者會合して抽籤に依り決定すべしと

財布の掏摸

[illegible]は嘗て京城[illegible]入り込み内地人[illegible]を詐稱し黃金町某旅館に伴れ入み金を騙取[illegible]財布の[illegible]し[illegible]たる所を[illegible]署に探知され十五日逮捕目下餘罪取調中なり

廣州郡中岱面松坡里常民無職鄭[illegible]は異樣の味に吐出したる[illegible]其尹(六[illegible])は己の娘なる李春植妾尹分業(三[illegible])と同居し居りしが[illegible]を遂げさせざりし[illegible]なり鄭は引致取調の上[illegible]

俠客奇譚『祐天吉松』
京日讀者優待券 (各等十錢割引)
一枚二人共通(切拔)
十九、廿日 於大正館
京城日報社

形勢益々混沌
今が爭覇の頂上
仁川の選擧運動

白熱化したる仁川學校組合議員選擧は形勢益々混沌裡に葬ける喊聲は夕べに既に敵の運動員に崩さるゝ始末に各候補共寸時も油斷を許さず今や其の爭奪戰は絶頂に達せるの觀あり加ふるに

一度辭退を傳へら

れたる岡宗一氏は再び運動を開始したりとさへ傳へられ候補一名を增す毎に競爭は更に激甚を加へ來らんとす、さらぬだに動もすれば金力の情弊に投ずる事稀ならざるに此の熱狂的競爭渦中に一票の高價なる價値を金に見積らんとする腐敗せる不德漢の現はるゝ故なしと云ふべきか仁川の某氏運動員は一有權者を訪ふて一票十五圓に買收の懇談を持ちかけて

見事に撥ね

られたりと噂でる、有權者の一部にあつては金儲けは今日前に轉がれりと公然語る者さへある醜差一度擧がれば迅雷的に官憲の活動開始せらるべきは言を俟たず各候補殿も戒心すべきの要あるべし現今候補者として色彩の明かにせる者の外に尙ほ暗中飛躍を開始せるもの一名あり聽て間際に至らば必ず名乘りを揚げて敵の啞然たる

其の間隙に

乘ぜんとする策戰にをさく怠りなしと云ふ之も注意を要する一事項たるべし斯の如くあらゆる術策を盡しての接戰其競爭は意外に激甚なれば勿論得票の誰に多くして誰に尠しなど遽に豫斷を許されず或は極僅少の差點を以て多數に分割され當落の差に到りては僅に二三票の危き所にあるべしと觀測されつゝあり

突如谷野氏辭す

稅關庶務課長谷野文之進氏は豫ね候補として再選疑ひなく山口縣人會一致の推擧を受て候補に超わ其の勢力は優越して六十票の確票を保持せるに拘らず十七日突如候補辭退の趣を申出で同夜山口縣人幹部會を開きて餘儀なく其の事情を承認するに至り頗る之を遺憾とせり同氏の辭任は全く一身上の都合なりと申出で堅く

口を緘して

語らず然れども稅關部內に於ける恐らべく閣鬪に非因せるは云ふ迄もなく監視課長中島愛三氏を擁ける一派は所謂反庶務課長派として到る處に苦肉の策を廻らせる形跡あり或は又一種の壓迫的に出でたるものに非ずやと推測されつゝあり斯の如く同氏の意外なる辭退によりて如何に稅關部內に於ける醜汚なるものあるかを暴露せられたりと云ふべし殊に中島派の

內情の複雜 にして

熱狂的運動振りに至つては官界のみならず之を通關業者其他民間に手を擴げて戸別的訪問に怠るなきが如く之等は更に後日の公務上に支障を生じ通關事務上の弊害を生む因たるなきかと憂慮するものあり(仁川)

安東木材閑散

滿洲各地の財界は依然として緩和せられず殊に滿鐵の本年度事業中止は滿洲各地の建築工事界に非常の打擊を與へたる等種々の惡材料あり爲めに木材の取引は殆んど見るべきものなく先約定ものゝ履行も破約に繼ぐに破約物多く加ふるに銀行側は一切荷爲替を引き受けざるを以て原木の取引は最も閑散を極め居れり殊に本年は鴨綠江上流の減水甚しく新材の到着は非常に遲れ未だ一筏の新筏も到着せざる有樣なり加ふるに銀價は最高兩對金三圓五十錢時代に比し約一圓五十錢方引き下げたる今日こて高價の原木を以て製材するも採算不引合ひなる爲め各製材工場は殆ご工事中止又作業短縮中にあり然れども荷役排底の爲め價格は大なる變動を見ず弱保合の氣配にて漸く現場維持し居るもの如し(安東縣)

協成銀行開業

資本金百萬圓を以て過般創立總會を開きたる協成銀行は去る十五日を以て許可の指令に接したれば來る二十五日より五番通り七丁目元武德組跡にて營業を開始する事に決定したり(安東縣)

兼浦市街工事
拾五萬圓に落札　工事開始期近し

兼二浦市街整理工事は大正七年度以降實施中の處大正九年度に屬する中央大下水、東大下水及其の支濟街路の改築整理等の工事は五月十四日黃海道廳に於て指名競爭入札に附せられしが兼二浦橋本組の入札金約十五萬圓は最低にて落札し工事契約を了したるを以て近く工事を開始すべし(兼二浦)

群山遍光寺 入佛式
賑やかな稚兒行列　眞眼僧正の講演會

群山高野山遍光寺にては總本山高野山より眞言宗大學敎頭文學博士佐伯眞眼僧正を招來し五月十五日より三日間入佛大法要を執行すると共に眞眼僧正の講演會を開催したるが十五日午後一時よりは本尊雅兒天童入佛の行列ありて盛況を極めたり(群山)

新に組織せる 曉鳴會
釜山少壯記者團

既報の如く釜山在住少壯記者團組織の打合せ會は十六日午後五時より市內西町ミカドに於て開かれたるが腹藏なき意見の交換を爲し種々論議辯駁を重ねたる結果滿場一致を以て左の會の根本要項を議決確定せり

一、本會は曉鳴會と稱す

二、本會は新聞記者本來の面目を發揮し意義ある生命を保ち以て輿論の嚮導を計るを以て目的とす

三、本會員たるの資格は年齡に目安を立てず頭腦の新鮮なる者とし時代遲れの陳腐なる頭腦を有する者に對しては漸次新化矯正の懇勸を爲す事

四、會員にして公平無私なる主張に對し萬一所屬會社の營業其他の方針と相容れず壓迫或は失職を爲したる場合は會員擧つて援助爲す事

五、本會は毎日一回必ず會合し必要ある場合は臨時會を開催すべし

斯くて各自胸襟を開き近々發會式を擧ぐべく決し九時解散(釜山)

撫順對安東軍 庭球試合
來る二十三日安東公會堂コートにて

撫順軍庭球部及び野球部より安東軍に挑戰し來りたるを以て之に應じ來る二十三日午前公會堂コートに於て庭球の試合を午後は小學校グラウンドに於て野球部の試合をなすべく決定し目下盛に練習中なるが安東野球軍は嚮に奉天軍の爲に九對四にて大敗したる苦き記錄あるを以て今回は雪辱戰の意味に於て遂に戰ひ一擧にして撫順軍を屠るべく作戰おさく怠りなしと傳へらる(安東縣)

持地局長視察

通信局長 事務視察の爲め來釜中なりし持地通信局長は十五日夜釜山局、海事出張所、朝郵支店、商船支店合同の歡迎宴に臨み十六日朝大邱へ向へり(釜山)

聯隊長檢閱

大邱步兵第八十聯隊長長野綾太郎大佐は十六日龍頭山上に於ていとも盛大に擧行せられたる釜山在鄕軍人分會總會並に招魂祭に臨場の爲め來釜したるが當地一泊十七日早朝より守備隊の檢閱を了し同夜夜行列車にて歸邱せりと

◎中村殖銀理事　朝鮮殖產銀行理事中村光吉氏は十七日午後〇時半烏致院着直ちに自動車を驅けて淸州に赴けり(烏致院)

興味ある犯罪捜査(二)
小說めいた大進丸　三萬圓事件の徑路

賭夫は替玉……

雲を摑むに似たる犯罪の跡を追うて何物かを獲むと焦る刑事の苦心は一通りでない、興味ある大事件の最初の手變を辿らんとする石川、阪下の兩刑事は五月二日門司に上陸すると直ちに門司署に到つて

捜査上の應援

を求めた處が案外に門司署は冷淡である、時しも總選擧を目の前に控へて多忙の極にあるからこの口實の下に外來刑事の應援は一切謝絕した、餘儀なく兩刑事は門司稅關に到つて事情を述べ監視課の吉田、水野外數氏の懇切なる援助を受けて調査の步を進むることに疑間の一個の叺が陸揚げされた事が判明した、

之れだこ許り

勇みかつた兩刑事は更に多大の興味に唆られつゝ晝夜の別らなく嚴密なる探査を續くること繼る、綜を解く如くそれからそれへこ次第に事件は展開して來た、それは恁うである、廿三日大進丸が門司に入港するこ同時に沖賣業を營む門司市堀川町一丁目林田商店の店員磯口鎭吉(二三)綿永幸平(三二)秋田勝一(二〇)の

三名は傳馬で

大進丸に漕ぎ付けたそして御用を承はつて歸るこき同船の賄夫から一個の叺入を『シヤケ』だこ稱して陸揚け方を託された、それこも知らぬ三名が何の苦もなく傳馬に積み込むこ同乘した賄夫は窃に語る『先にシヤケこ云つたは嘘で在中の貨入は之れ三千圓に價ひする阿片であるから之を甘く稅關の目を拔けて陸揚げすれば一人五十圓即ち百五十圓の謝禮をする』こ斯くて棧橋に陸揚するこ更に

之を馬關渡に

運ばせそこで初めて荷車に積み込んだ、扨て何處に運んだのであらうか、三人が一時間も馬關渡しに待つて居るこ件んの賄夫は再び立ち歸つて手の切れるやうな五十錢紙幣の百枚括りを各々に渡して何れへか立ち去つてしまつた、こ茲まで判明するこ刑事の腦裡には荷車の轍の跡がさも歷々こ描かるゝ氣がするのであつた。

そも此の叺は

何れの地に運ばれて如何にして三萬圓の紙幣は取り出されたのであらうか、兩刑事の眼は時間こ方向こ推定から起る疑問の焦點に異樣の光を見せた(仁川)……つゞく

槐山通信

▲內地觀光團　邑內鮮人觀光團五月十二日槐山小倉郡長李郡守の[illegible]

日曜日に開會し席每會二十餘名[illegible]

▲學校職員ノ轉任　槐山公立普[illegible]じ全南光州安豊通學校より李盛定敎員養成所卒業山口縣人高勉の二訓導其後任として任命せらる

[illegible]に於ける民心の動搖に乘じ不逞の徒が納稅不應の煽動を爲せる形跡あるに加へ(二)三面事務[illegible]

(一)一般民心の趨向と納稅者乃至面吏員の動靜に深甚の注意を拂はしめ(二)各稅各納期に於ては常に納入の狀況を査[illegible]には常に警察官署と交涉して其の安全を期せしむることゝし萬一[illegible]排して徵收成[illegible]の保持向[illegible]せしめた[illegible]

何れも　前年に比し成績良好を收め前年度各納期末現在[illegible]狀況布四千八百五十四人財產押へ四百一人なりしに對し八年[illegible]稅は大邱府にして納稅者經濟界の活況に伴ない自然納稅に要する手數を輕ひ滯納者增加の傾向に於ても滯納處置者の多きに加[illegible]內に居住し且つ資力乏しき

投機者　多數にして從來[illegible]

婚禮の家出　槐山三坂通五十二番地山下嵐松長女と[illegible]が情夫田淵某が目下奉天某旅館に客引を勤めつゝある由を聞き[illegible]十三日[illegible]

俠客奇譚 祐天吉松
第四〇席　神田伯山講演

日『其ればかりなら兎に角、湯に行くこ風呂の中で今も昔も瓦町までこ唄を謡ふ、然んな坊主があるか　吉『へエどうも恐れ入りました、却々坊主こいふものは難しいものでございますな　日『難しいごころではない、出家の行ひは俗人に出來難いこごだ大黙羅の立食ひをして鼻唄を謡ひながら歩くなごこ云ふは怪しからぬ事だ、串戯にも南無阿彌陀佛こ云つて歩め、仕樣のない奴だ　吉『へエ以來氣を付けます　日『一寸是から使ひに行つて來なさい　吉『へエ宜しうございます、何處へ參ります　日『本所相生町二丁目の法安坊の家を知つて居るだらう　吉『へエ存じて居ります、四宮先生の所で御懇意になつて御使に行つた事もございますが　日『ア、然うか、彼處へ行つて來い　吉『畏まりました　日『先達御願ひ申して置いた古畵古筆、先方より大分急いて參りましたが、如何致して宜しうございますかこ口上を述べて返事を聞いて來て呉れ　吉『へエ宜しうございます　日『間違ひないやうに口上を言ひなさい　吉『串戯云つちやア不可ません、其れつばかりの文句を間違へて何うするもんぢやアありません、先達お願ひ申した古畵古筆先方より大分急いて參りました、如何取計らつたら宜しうございますかこ家の坊主が申しました……　日『何んだ家の坊主こは　〇『坊の主だから坊主で宜いぢやアありませんか　日『生意氣に文字の解釋をするな、假にも住僧だ、和尙樣が申しました位の事は云へ　吉『へエ宜しうございます行つて參ります　日『ア、行つて來いよ夜の四ツ頃までに歸れば宜

いから……　吉『然んなに掛りやアしません、まだ八ツを打つたばかりだから今から行きやア日の暮れねえ中に歸つて來ます　日『何でも宜いから夜の四ツまでに歸つて來い、急ぐ用でもないから……　吉『へエ』こ嬉く顏を見て居りました吉松が、アゝ之は何だ俺が寺に居ては酒を飲むこごも出來ず、魚肉を食ふこごも出來ないから、格別の用でもないが、法安坊こ云ふ碁打の所へ使ひに遣つて、鮮魚で酒を飲んで夜の四ツまでに、醉ひを覺まして歸つて來い、寺の周圍では成らないから、隔れた所で飲んで來いこ云ふ謎だこ氣が付いたから　吉『成程能く分りました、其有難ね思召に從つて事に依つたら二三日歸らないかも知れません　日『馬鹿を云へ、其んなに長く掛かつてはならぬ夜の四ツまでには必こ歸つて來いよ　吉『へエ宜しうございますお前さんも灰汁拔けた年增德のする坊さんだ　日『コレ捌言た事を云ふな』吉松の前澤喜んで廣德寺を出て、眞直に菊屋橋から門跡前、並木から古堂の所へ出で右へ切れて少し行くこ、今の廐橋其頃は御厩の渡しこ云ひました、船で本所へ渡つて河端を眞直に御藏橋を渡り横綱へ出て回向院から相生町一丁目二丁目こやつて來た　吉『ア、此處だ〳〵、エー願ひます〳〵　〇『ドーレ』出て來た法安坊の御弟子チョイ〳〵四宮へも廣德寺へも使ひに來たので前澤を知つて居る『ヤア誰だこ思つたら前澤さんの吉松さん　〇『何を云つてやがる、前澤なら前澤で宜い、吉松なら吉松が好い、名前を二つ呼ぶな、カイワイに張られつでヤリに張つちまへ』碁打ちの御弟子、何の事だか分らない『然いて居ろ　日『先生がお在宅なら一寸お目に掛りたい　〇『一寸待つてお呉んなさい』こ弟子が奧へ來て　〇『先生是々でございます　法『アハ、馬鹿な奴だ、俳句からの馬鹿ではない、交際つて見る中に面白い男だ、宜いから此方へ通せ　〇『へエ……へエ前澤さん此方へお通んなさい　吉『アゝ今度は一つしか名を呼ばねえな……』へエ先生御機嫌宜う和尙も宜しく申しました　法『アゝお前も相變らず好い機嫌だ併し前澤は續いて能く廣德寺に辛抱して居るな　吉『へエその節は又一々お骨折り下すつて、有難う存じました、今日はマア仕のお禮勞和尙さんの使ひに參りました

聯將棋(三)

於京城旭町大日本麥酒會社倶樂部

東軍(先)	西軍
○久保田長兵衛	◉大島勝太郎
△安井成吉	▲伊藤路加
□中村健三	◙龜山太七

平手

(圖は前號指了迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂			王			桂	香	一
	飛			金		金	銀		二
步	步		步	步	步		步	步	三
		步			角	步			四
									五
	角								六
步	步	金	步		步	步	步	步	七
			玉						八
香					金	銀	桂	香	九

持駒　東軍　飛角步

○八六步 ◉八八飛 △七八銀 ▲六五桂 □七一飛 ◙四二玉 ○六六步 ◉三五馬 △四六角 ▲同馬 □同步 ◙五七角 ○六七玉 ◉七七桂ナル △同玉 ▲六六角ナル(チ) □同玉 ◙七八飛ナル ○五七玉(ワ) ◉七六步(カ) △四五角 ▲六九龍 □五九步 ◙七七步ナル(以下次號)

講評

▲(チ)六六角なる急激なり七九角なるにて敵應手に窮まん
○(ワ)五七玉の逃避良手なり
◉(カ)七六步打ち緩漫なり直に六七金と打ちて優勢なり

五月廿一日

(舊)四月四日　▲金曜 ▲己卯 ▲一白 ▲暗劍北方 ▲先勝 ▲元

小滿(午後六時二十二分)　見眞大師降誕會

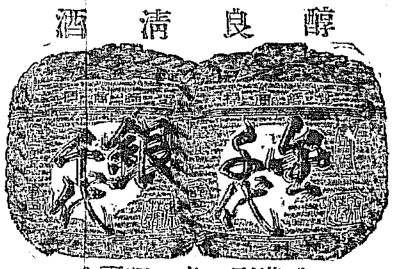
▼一白 ▲うんざりする事ある日
▼二黑 ▲姑息勝ちの日就職見合
▼三碧 ▲見込の當る日開業求職金談緣談證券業油井を掘る等吉
▼四綠 ▲嬉しく夢心地の日女子は顏母數事あるべし待ち人來る
▼五黃 ▲不調和の日新取引用心
▼六白 ▲同情を得て幸運の巡り來るの日商事進んで必ず利あり
▼七赤 ▲至極順調の日移轉旅行名弘求職棟上嫁婿入水物等吉
▼八白 ▲杓子定規の事あるの日
▼九紫 ▲信用し過ぎて損を招く

廣告

人蔘王

京城本町壹丁目　電話一四八〇番　一八七〇番
㋡津村兄弟商會

醇良清酒



鮮滿到る處に販賣す
釀造元　平壤　齋藤酒造合名會社

金物鑛油石炭煉瓦材木紅竹セメント土管耐火赤煉瓦各種長水院無煙炭
朝鮮商工株式會社　平壤本町　電話長五〇一番四四一

水道瓦斯鐵管並に水道用器具諸機械製作並に修理鐵骨架橋工事一式
同　鐵工所　平壤柳町　電話長六〇三

耐火煉瓦　赤煉瓦　各種　シャモット　土管
同　煉瓦製造所　平壤樽口町　電話長二一五

春夏向の防水羅紗マント
◎外出の最適品◎體裁よき德用の雨具
▲如何なる雨にも風にも本品さへあれば大丈夫安心なものです
▲是からの定めもつかぬ空模樣には傘は邪魔で不格好雨合羽も不体裁
▲本品は國產羅紗の特製にて體裁もよく高尙で防水が完全なればお天氣にも雨降りにも兼用で和洋服何れにも適します

廉價 適用 高尙優美

特價(郵便料實費)
[illegible]
色は茶及鼠色

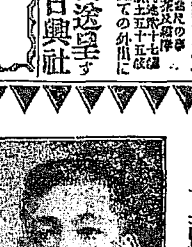
▲されば業務に通學に男女學生の通學に自轉車乘用に總ての外出に一日も欠く事の出來ない必須品であります
▲事實は有力な證據也若し躊躇せらるゝ士は先づ見本を要求あれ
▲物品は代金引替にても送る　御希望者は申込あれ
無代送呈
東京市芝區三田功運町　振替東京四五一七三番　日興社

人氣彌々盛んなる化粧料の花形
桃谷研究試驗所創製
光榮ある發賣化粧歷三十六年の內

白色美顏水

整腸劑
ラクトスターゼ
ラクトスターゼはメチニコッフ博士の長壽說に基きたる乳酸菌製劑にして、現今腸疾豫防、治療劑として盛に其應用を見る。之れ蓋し本劑は腸內腐敗を防止し、之に原因する諸症に有效なるの事實明確されたるによる。
ラクトスターゼ適應症　腸の疾患、腎及肝の諸症、腸內生產毒素の吸收等に因する皮膚病、神經衰弱、貧血早老、動脈硬化、蛋白質含有食品多食の害ある諸症等。
▽粉末、錠劑の各種、▽各地藥店にあり、▽說明書贈呈す。
本社　東京日本橋區室町　出張所　大阪東區平野町　三共株式會社

▲愛浪家お待兼の!▼
◎浪界巨頭 東家樂遊來る▲



(演題) 潮田主水
勤王美談 小松嵐
▲東都斯界の花形 東家小雀 特別出演
今廿日より開演 浪花館

帝大醫科藥局 官立病院御用
灘の高橋生粹銘酒
賞すべき灘酒の風味は醇なる「澤之鶴」に依て保てり

加州婦人俱樂部排日決議

總督軍晉京

齋藤總督は十七日午後晉京せり（北京電報）

ス提督遺跡訪問

商況

株式

東京株式（至急電報）

●十九日第一立會　前電比較

東株　一〇六、〇〇　五、〇〇安
東新　一〇三、〇〇　三、六〇安
鐘紡　一二四、九〇　九〇高
鐘新　一一七、一〇　一、二〇安
一新　一一五、〇〇　一、一〇安

東京短期特電

大阪株式（至急電報）

大連株式（至急電報）

安東現株特電

安東銀相場

京城現株（標準値段）

東京先物別報

肺病的相場　惡玉依然祟る

今日の株式市場は恰かも肺病患者の如きものにて一時危殆に瀕せるも其の跡は漸次回復に向ひ悉々院長より生命に別狀なしと云ひ渡され退院したる其の後養調甚だしく尚ほ一人歩きは困難且つ危險にして矢張り病上りは是非なく隨つて此の際滋養物を充分に攝取しても健康體には容易に復歸せず漸く庭園散步位の程度を得る位ゐにて隨つて其の前途を悲觀するは早計なれども動もすれば下向き易く市場の活氣なきは其の病上りと均しく當分無活氣を繰々すべきもの、如し

氣迷漸く深し

頃の寂しき關係上突込買を躊躇し居るが然りとて四圍の事情は未だ安心買を許さず此際寧ろ何れも手出しする能はざる氣迷狀態となれりかく一般氣迷の結果として頃日の市場は特に手詰的商ひ無きに非れ共忽ち元の閑散は市場の活氣を殺ぎ無活氣は遂に各地買方の嫌氣を馴致し一層氣迷ひを深くせるものの如し

東京當限悲觀

前日後場下逆りたる氣先今朝は綿糸の形勢面白からざるに尚不安定を免れず取引所株の賣買禁止論依然として市場の一角に問題とせられつゝある爲め一般の買氣を抑壓し揚て、東京市場の當限尚九十萬内外の多數を有せる一事は月末の懸念ある等にて動もすれば下向き易き步調となれり今東京の三期取組高を見れば左の如し（十七日）

當限　九十萬六千八百五十株
中限　四十七萬二千八百五十株
先限　十一萬六千六百九十株

小口落觀悲說

小口落問題は聊か行惱のみ懸念無きに非ざるも認可は既定の事實ならんと市場に解釋せられつゝあり而して更に評判する處によれば小口落の認可は取引所對委託者の責任關係を仲買人對委託者關係に轉嫁するのみならず仲買人の身元保證金を假りに從前の倍額となすも尚ほ有限責任なる仲買人が無限責任たる委託玉を保證する事となり其結果例へば此程の如き株式仲買の悲境に陷れる場合に不德義なる仲買ありとせば其客に有限責任を以てより多くの債務を果さんと欲すべく俗に百兩の代に編整となり隨つて委託者も不安を感じ商內は大に衰微すべく此に於てか委託玉に對しては必ず金切法を適用し相互有限責任を以つて相對崎するに至るべしと

公債株式問屋　京城府光化門通　⑧丸八商會　電話三六〇〇番　電略〇八又ハ（マル八）

大株現株組合

百名の現株業者より成りたる大株現株組合にては六月一日定期總會を開き役員の改選をなす筈なるが同組合有志同盟會にては此の際役員の更迭を行なふべく運動を起せり尙同組合は現株取引株プレミヤム問題に就き大紛擾を免れざるべしといふ（大阪電報）

大阪稍戾す

大阪市場は昨前場一齊に安寄付を演じ大新の如き遂に惡崩れ相場を現はしたるが引際より後場に亙り幾分見直し來り即ち昨前場保合に寄付き居れり今朝も强含付にて今朝寄付を比較すれば大株七圓八十錢高大新七圓九十錢高郵船保合鐘紡八圓十錢高新七圓八十錢高東紡四圓高東糖一圓高堂米保合上取六圓高と概して小戾しを移せり

大連取引氣丈

大連取引は最近五十五六圓邊に伸び惱み居たるが茲兩三日來稍買氣立ち來りて五十九圓より六十圓撥みに引締り來入電も當限五十九圓九十錢先物六十圓を示し場面緊張勢氣强しと報ぜり

京城現株市況

今朝も相變らず市況閑散にして仁取二百圓買聲あるも買手なく京株は昨朝氣配に比すれば稍引締りたるも尙ほ三十三買四圓ヤリ見當を出でず殖銀は舊株五十八圓に出來て新株も十八圓處に弛み東拓二新も二十圓處を割りて十九圓五十錢の手合あり朝紡は本月末の拂込みを控へて嫌氣投げ續出し二十圓處より一擧十六圓の安値を現はし殖鐵亦八圓臺となりて六十錢の手合あり其他朝鮮土地の十五圓にて動きたる等一般に內地の不透明に連れて當地現株界も下げ鬱はるゝ振合あり昨午后より今朝に亘る手合平均値左の如し

安東證券信託仲買人　㊉原田株式店　安東縣市場通　電話七四番・二七〇番・八六番・四〇番

京株下支へ

京株は昨朝氣配に惡化して三十二圓より二圓五七十錢の安商內を見たるが三十一二圓處は依然思惑筋より買組はれて今朝は三十三圓買四圓ヤリの見當を唱へ茲何んとなく下支ゐ氣味を呈せるが左りとて亦上伸の形勢も見えず當分保合んかと察せらる

朝紡嫌氣投げ

朝鮮紡織は本月末を以て第二回拂込（十二圓五十錢）を徵收する事となりたるより一般株主中には金融逼迫の折柄苦痛を感ずる者少からず寧ろ幾分の損を見切りても期日前に之れを手放さんとする振合ひありて賣嫌はれたるが進んで買はんとする者も無く自然相場は崩される一方にて最近迄二十圓唱へなりしも今朝十六圓五十錢の安値に出來せり

東拓二新臺割

東拓二新は最近迄二十一圓より五十錢見當に賣買され居たるが今朝十九圓五十錢の手合あり遂に臺割れ相場を現はせり

殖鐵株浮動數

西鮮殖產鐵道會社株中創立以來三月三十一日までに賣買されし數は六萬七千餘株にて一株平均十五圓十一錢五厘に相當し居れりこれ昨秋同株好況中賣買されたるもの多きためなり

兜町だより

不景氣は社會の各方面を通じて大分濃厚になつて來たやうで國技舘大角力も餘り大入でないさうだが兜町の不景氣は全く豫想の外だ◆其原因は仲買人に對する信用否東株の擔保賠償が當にならぬのだから何人と雖も證據金を預て勝負をするものがある譯がない◆加之仲買人も背負込んだ株が下がつては耐まらぬと云ふので賣注文は一切受けぬ喧嘩の申合をして居るので餘儀ない關係で買注文を受けても値段が出合ぬとの理由で返却して了ふのだ◆これで不景氣になるのは當然否自ら不景氣を作製して居るのだ然も斯くして株を引下げたいとは恐れ入◆乍然銀行の手許は大分潤澤でコール一錢以下と云ふのだから何とか銀行に談合したならば注文を斷るより名案では無からうか◆但し一般の

株界片々

相場すら信用しない取引所や仲買人を銀行がオイと直ぐ承諾するかどうか保證の限に非ずサ

仁取も二百圓見當まで下つて來た嫌氣やら利まわりから見れば賣る餘地はないが金づまりはそんな事を言つて居れぬどころかつまれば株を投出す者もあるは世の中だ▲金先も上海取引所株な▲ど

仁取は二百六十五圓の高値から百十五圓に落ち二百十圓も下り大連取引所も百七十五圓から五十圓所に百十二圓も下げてゐる▲つまり上取五分の一弱連取は三分の一弱になつた形だそれに比ぶれば仁取などは好い方でこれは全く賣買のたまものであらう▲東株大株にしても三月には小六百圓もした二百圓を割つた相場は三分の一だ▲官吏中小金を殖銀株や鮮銀株やに投じたのも大分あるらしい▲それらが今度の暴落にあつて大恐慌を來しヤハリ現金がよかつたとコボシてゐるさうだがもう遲い▲尤もジツともちとタエてゐれば無論上るのだこんな時あわてゝ賣るものじやない

米況

○鮮銀券日報　五月十八日の現在左の如し

發行高　一一七、三一五、一八〇
正貨準備　四七、九四九、七三四
限外發行　一九、八一五、四四六

○日銀帳尻　五月十七日現在左の如し

○京阪金利　五月十八日の現在左の如し

東京期米特電

大阪期米特電

神戸期米特電

下關期米特電

群山正米特電

米月中物四十四圓五十錢同末九十五錢七月中四圓九十錢現物四圓八十錢（十九日）

仁川期米　十九日前場（跡安）

昨後場は阪地が僅か四丁の動きにて更に活氣なきを豫測せし今朝の場面は人氣變らず當中出來ず先限四十圓九十五錢と同事に寄付円相山布の商向いもヂリ〳〵消化して四十一圓十二錢と跳ね返し反りは目先屋の手詰め急ぎに六錢と保合ひに引

▲第二節　當中出來ず先四十圓七十五錢
▲第三節　當中出來ざるが先大阪前寄四十圓八十二錢の安移りに四十圓九十錢と下寄し更に十九錢と押し相山布其他の賣進みに九十錢と跳返し賣物に七十五錢と追はれ八十二錢と結局手堅く引
▲第四節　當中出來ず先六十九錢より阪地安を早耳せしが全賣に五十五錢と下迫りせしが押目は正米筋の賣物に手堅く七十七八錢と返し六錢引
▲第五節　當中出來ず先七十錢より八錢と引締まり六錢と持合ひに大引せり

人氣底堅し

持合ひ分岐の如何に付强弱兩者を迷はしめつゝありし場面も今朝大阪の安移りに刺戟されたる賣物の綿川に愈々下放れと速斷したる目先屋の賣物を添へ四十一圓〇九錢を高値として惡割れの四十圓五十五錢と追戟されしが何分買方には正米事情より乘せる各地有力者を網羅せる關係より無碍にも下押さず跡忽ち七十錢臺に跳返し底意强硬に打止めたり

後場持合ひ

仁川米豆取引所仲買人　㊄仲買店　電話一七七、一五二、三六二番　電信略號（マルカ）

市場雜觀

毎日トン〳〵柏子を以つて上つて行く正米が嘘か又四十一圓ふみに焦付きて仲力の添はぬ定期が眞か財界の前途は出來ない何れが眞か何れとも斷定を得ぬ今日▲併し此頃釜山群山大邱邊の延取引の高いのも注目すべき事で飛らぬ來月物四十六圓以上にも▲當市場の四十一圓と云ふは決して居るとは豫ろではないか

京城正米市場

仁川米豆取引所仲買人　㊇仲買店　電話一八二、長一八三番　電略（シ）又ハ（カクシ）

各地正米は益々買募り模樣にて逐日上向き大手筋の買氣猛烈を加へ金泉の如き昨日は六月中四十五圓八十錢七月末四十六圓九十錢こいふ突飛の高値に取引行はれたる由にて眼先の形勢何こなく穩かならず自然品ガスレの當市場人氣は益々强く

仁川正米市場

在米逐次減少

仁川米豆取引所仲買人　坂倉仲買店　電話六五〇番　三五五番

栗現物賣れ立

鳥致院市況

大阪株式取引所仲買人　㊀松井憲三商店　大阪北濱一　電話本局長 807 808 809 810 811 812　2345 4381 4382 4383 4384 4385　定期・現物・信託・調査部

大阪三品特電

綿布總解合內決

解合こ人氣

綿糸布協議會

十八日綿糸布同盟會にて綿糸布の解合問題に關し協議會を開催すべく同會委員百五十六名は集合の上當業幹事より綿業界の窮狀を具陳し此際總解合をなして根本より一大整理をなすに非らざれば此窮境を脫する能はずこ言明して協議に入り先づ特別委員を選定し解合に關する成案の協議をなすに決定せるが各商店共利害關係の頗る重大なるものあれば甲論乙駁容易に決定を見るは容易ならざる寫行なり（大阪電報）

C. R. Lee Co.　有價証券 現物賣買　SHARES BROKER　李章魯商店　TEL No. 345. 505. 508. 803.

演藝案內

黃金館　大正館　浪花館　壽館　喜樂館

鐵の手袋　南山血染　關東七人男　人情劇 魔の囁き　牡丹のお蝶　『親心』　『懸賞』　祐天吉松　東家樂遊來る

新株式第壹回拂込公告
一、拂込金額　壹株ニ付金拾貳圓五拾錢
二、拂込期日　大正九年五月二十日ヨリ同二十五日迄
三、拂込金取扱場所　當行本支店及朝鮮銀行大阪支店
大正九年五月十九日
株式會社漢城銀行

株式名義書換停止
六月一日ヨリ定時總會終了ノ日迄
朝鮮製紙株式會社

吳服半値大賣出
今回ノ大暴落品京阪ヨリ着荷候ニ付吳服及衣服類凡テ半値ニテ販賣可致安價ナル事ハ全ク論ヨリ證據何卒御來店被下度願上候
京城本町三丁目　藤井商店

腦病と神經衰弱奇藥
記憶力缺乏之元氣
腦丸
腦に故障あれば出世の妨
本舖　山崎帝國堂

痔疾專門　京城久枝肛門病院

魚釣具　投網　カスミ網　吉備商會

醫學士富士治男氏發明　健康治病之新利器
オキシデアテルミー
特價金參拾圓也
朝鮮代理店　山陽電氣商會　京城黃金町三丁目

ネッスルミルクフード
卓越セル效果ハ日本ニ於テモ充分認メラレ、ソノ需要ハ益々增加シツヽアリ
NESTLÉ'S MILK FOOD

金牌受領
男女頭髮用　椿香油ポマード
毛を黑く長くつやを出し
赤毛くせ毛ぬけ毛折毛を防ぐ事妙
本舖大阪

ぢ
痔で困る方切手三錢を送れば永年の病も自宅でキラズに治す良藥を無代で致ゆ
名古屋市南小川町五〇　救化舘

美乳
スグ色白くなる！スグ美人になる！
▽その一滴の科學的價值
すぐ色白くなる、それは事實であります。すぐ美人になる、それは實驗者のみが味はひ得る幸福のよろこびから出た言葉であります。日本に初めて出來た美乳の其の一滴の科學的價値は、克く皮膚の微細な氣孔を通して內面組織の新陳代謝する機能に及ぼし、生地から色を白く美しくする效果の顯著さが十二分に證明して居ります。朝夕洗顏のあと、湯上りなどに美乳一滴を必ず塗ける習慣のついた方の皮膚は奇麗なる程と首肯されませう！
美乳白粉本舖　矢野芳香園

熊平洋家具は優秀との賞讚を受く
京城　熊平支店

國末式ペント金庫
進步せる學理と最新の機械力とにより製作せられた
國末式ペント金庫は人爲的破壞は勿論猛烈なる火災と地震の無限の抵抗力を有する
國末金庫

劍舞（七）

碧瑠璃園
挿畫　森田ひさし

何處まで（三）

それは彼岸が開けた翌る日であつた、欣作は前の日から用意をして

『會社の用で名古屋地方へ出張します、歸りは一週間後になるか知れません、留守中をお頼みします』と母のお孝に頼んで置いて、朝早く家を出た

菊枝は素知らぬ顔をして水道端で洗濯して居た、一月二月旅行する時でも、名殘惜さうな素振を見せたり、門口へ見送つて出たりするさ、姑の機嫌がすぐ變るので、いつも爲きるだけ冷淡な態度を取つて居たが、今日は取り分け素氣無くして居た

『お前も熱く氣を付けなければ可けないよ』

欣作は臺所を覗いて云つた

『御機嫌克く行つて來らつしやい』

菊枝は洗濯の手を休めないでそつけなく斯う云つたばかりであつた

お孝は欣作を送り出すと、二三日前から冴え返つて寒くなつた陽氣に追はれて、炬燵の中へ潜り込んだが、それでも八方へ目を配つて、何處かの隅から菊枝の落度を探し出さうとするやうに見廻した

『菊枝』斯う呼んだ聲は嶮しかつた

『はい』と菊枝は淸しい張のある聲で答て、手を拭きながら上つて來た、その美しい花のやうな姿を見ると、お孝の目はぎろりと光つて

『お前、わたしの生けた花をお直しなすつたね』と薄い唇を歪めて云つた

一間の置床に彼岸櫻が生けてあつた

『いゝえ、お母樣』

『秘したつて可けません、秘したつて分つて居ます、お前はわたしのする事が氣に入らないのですよ、わたしの爲ることを陰でお笑ひなさるのです』

『まあ飛んでもないお母さま』

『いゝわ宥うです、お前さん、わたしの生けた枝振に剪刀を入れたのでせう』

『勿體ない、そんな事をして宜いものでございますか、それにわたくし、剪刀一つ持つたこともございませんのに、どうしてお母さまのお花なぞ……』

『さうして口でばかり巧いことを云つてお在で、わたしはどうせお前の手の下に使はれる罪人です、お前の爲めに苛め殺される人間です』

お孝は自分の言ふ詞に腹が立つて來た、菊枝を苛める爲めに云つて居る事が、宛ら眞實である如く感じて來た、それは嫌がらせに云ふのではなく、實際にさうした事實が、目前へ落ち掛つて來る如く思はれてならなかつた、心に作つた鬼が躍り出て直ぐ身に迫つて來るやうな恐怖が全身に漲ち渡つた

お孝はその爲に沈とさして居ることが出來なくなつた

『わたし、一寸出て來ます、留守の間にたんと秘し事をしてお置きなさい』

斯う云つて外へ出た、然し、何處へ行當もないので、天王寺から公園の邊を一廻りして、一時間の後家へ歸つた、處が一寸風呂へ往つて來ても『お歸りなさいまし』と云つて表の間まで出迎ねる菊枝が、其日に限つて姿を見せない、ずつと通つて、茶の間へ入つたが、そこにも菊枝の姿が無かつた、奥の間、臺所、二階座敷までを調たが、菊枝は何處にも居なかつた

『菊枝〳〵、菊枝は居ませんか』

お孝は聲を限りに呼んだが、その聲は家の中にかん〳〵と響くばかりで、菊枝の答へは聞こえなかつた、流石のお孝も『もしや』と思ふと、好い氣持はしなかつた

然し、一寸顔を見ても、惡寒の走るほど厭な思ひをする菊枝が、目前から姿を消したかと思ふと、頭の上に被さつて居た黑雲が、急に晴れたやうな快よさを感じないでは居られなかつた

新龍山三角地西へ入る
新龍山齒科醫院
東京齒科醫學士　廣瀬文質

新刊紹介

▲ホトトギス（五月）濃鬱（虚子）蜘蛛の死骸（佐久間法師）病床日記（吉田左衛門）西新井吟行（月舟）を始め『虚子歓迎俳句大會』『虚子先生歓迎大阪園大俳句會』『虚子先生を迎へて』等あり各地俳句界及び會數亦大賑ひ、連載の『寫生は俳句の大道である』『小學讀本にある俳句研究』共に句に志すもの、必讀に値する（四十五錢東京市牛込區市谷船河原町其社）

▲ニコ〳〵（五月）早稻田を包める妖氣の解剖（矢作吃々）遂鹿岡目放言（巖谷小波、原と大隈（古川老人））等時節柄見るべく中澁谷新居の家（松崎天民）幸福な私共（林榮子）鮮血で彩つた耕耘細（大村南花）等趣味深きもの小説に感（澆雄）破れた錦紛（泉斜汀）あり例に依つて緊張した編輯振りを見せて居るが嬉しい（五十錢東京麹町區有樂町其倶樂部）

▲有効乃活動（五月）齋納治五郎氏主宰の柔道宣傳雜誌（三十錢東京小石川區大塚下町柔道會本部）

▲朝鮮土木建築協會々報（五月）二十五錢京城長谷川町其協會

▲宗教（五月）十錢京都烏丸通七條上ル大谷派本願寺事務所内發行所

▲食物の養生（五月）二十錢東京牛込區市谷町石塚食養所

讀者の領分

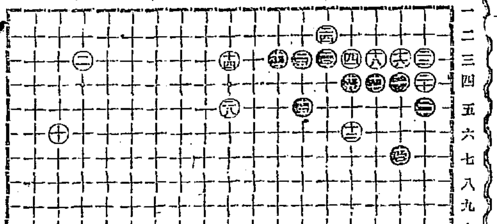
▲御願女樣（五月二日）御希望、樣な家庭にて御世話致し度さ方あり就ては至急御面談致し度し電話二八八四番田中へ（倭城合生）▲或男生に御恐れ申候五月四日讀者の領分にて貴殿の知人中に婦人不之候由小生の友人にも無妻にて暮し居り候者有之是非共御世話申し上度委細下名迄御通知被成下度願上候（南大門通五丁目芝淺野方土居生）▲西女樣にお願（致ます『イボ』には茄子を輪切りにして『イボ』を度々お擦なさい（實驗上今迄は皆全治致しました）要するに茄子の液汁が『イボ』に効く樣です黄金町上原生君私しも上房部の者で中産民家なら同和から直接勝致して居りますが如何ですか（龍山漢江通堀）▲YN生君へ告ぐ小生數年前専門學校入學者試驗檢定に受驗、幸に合格せり同受驗者に同情を持つ下記へ住所御氏名御報らせあらば小生の知れるだけは回答すべし（平北、球場、小蘭生）▲此節柄市街隘挑底にて諸人特に市中商人間に於ては過剰金を出すに困難を感じ今しも切手を代用して不便を充し居り候次第なるに聞けば德義心なきものさ見へ穴ほげの五錢白銅貨を物珍らしく消殺して數多箱底に眠らしめ流通貨幣の何たるかを辨へざる者有之實に歸慨に堪へず大に德義を重し宜しく箱底の蓄藏貨を吐出し市中の人を喜ばせることに留心あらんことを望む（慨慨生）▲本紙上讀者の領分欄で『働き女』と名乘し洗濯などの御世話ができるとの事がありましたが早速御頼み致したいですが電話二四〇七番で御相談下さい日給も相當に差上ますから急ぎ願みます（四小門錦町）▲近外交通警察の取締不充分な事には驚くの外はない試に見よ南大門通りの人並中に自轉車を平然と乘廻すものありて偶々警官の之れと出會するも制止せざるのみか各商店は人道上に商品や看板等を積置き又は諸人の大道商人の店出しせるあり折角廣く造られし道路も應さ狹くするも些も支なきや次に旭町一丁目の街路上に古材瓦な多數積上げさらぬだに廣からざる道幅の四割以上を狹め其上〇〇商店ではいつも往路上で荷造りをなし爲めに僅か一間幅あるかなしかの處を通行することさなる之れらも差支なきものにや右は小生の目撃せる一例に過ぎず少しく注意せば取締不充分なるは一擧に擧ることさなるべし（区生）

圍碁新局（三）

大正九年五月園棊會（京城日報社後援）局上

先　闘　源吉（五段）
　　紀本龍太郎（三段）

●三一	な十五
○三二	よ十四
●三三	れ十三
○三四	ち十六
●三五	と十七
○三六	ぬ十五
●三七	ゐ十三
○三八	り十七
●三九	か十六
○四〇	よ十六
●四一	か十三
○四二	よ十三
●四三	よ十二
○四四	れ十四
●四五	そ十四



縞セル
一反只三圓卅錢

明治四十五年以來引續き無茶苦茶の安値にて御投賣を繼續し常得意の取引先已に百萬を算する巨商東京市日本橋區本石町一丁目呉服毛織物問屋開谷商店にては一見市價十圓も二十圓もする新來セルに負けぬ新流行の縞セル一反乙號只の三圓三十錢甲號五圓三十錢特別上製七圓三十錢と云ふ破天荒の處分投は平素信用基本の同店に限るものにて他店が如何に模倣せんとするも品質と廉價の上に於て到底及ばざる處也因に數千反限りの事なれば賣切ぬ内に男女別年齢等詳敷書いてハガキで申込ば親切に柄風を撰み着枉を以て送る由

▲益々有望なる
本業副業

◎此際秘傳參考無代進呈
◎男女六十歳迄至急募集

僅の費用と勉強により自宅開業も出來開業の上は醫師同樣尚今後益々發展の途ありて收入多く高等學府出身者もおよばざるも心配なく帝國領土内外共自由にて開業の如く損の憂ひなく鍼術、灸術、電氣マツサージ、規則書本一冊進呈す至急ハガキで申込め

東京青山北町七
日本鍼灸學院

優良化粧用
アカシヤ石鹸
ACACIA SOAP
大連　玉翼洋行

本場大島紬商　中井勝次支店　京城本町一丁目　電話九〇一番

用心深い胃弱家は

用ひて後に害を殘さぬ、ソレ評判の五大軍醫の合議製藥、帖佐博士の推奨する、胃活を家庭に備へて、常用するに限ります。後刻といへば時機を誤ります。病は猶豫して呉れませぬ。思ひ立ちたる時に御求めあれ

胃活定價　一圓、五十錢、三十錢、二十錢、十五錢
胃活錠定價　二圓、一圓、五十錢、二十錢
ロート胃活本舗　東京本銀町二丁目　大阪南久寶寺二丁目　山田安民藥房

日本國内は勿論海外要所各藥店に發賣す

スッキリと素顔の美しい事

清楚なお肌にする　レートAの効顯！

美くしくなる譯
フードの美白作用

▲地肌を整へる事。これはフードのA主成分の作用で、附けると直ぐ地肌へ吸ひ込まれ皮膚の新陳代謝を促進せしめ皮膚を柔軟かに、肌理を細かく日焼けを防ぎます。

▲ホンノリ色白くなる事。これはフードのB副成分の作用で配伍された新美容素が、地肌からホンノリと白く浮出して來ますから自然に天性のやうな白き美くしさとなります。

本舗　東京　大阪　平尾贊平商店

横綱味噌の
ほまれ味噌

箱型　幌型
高級　貸自働車

現代の交通には迅速便利經濟なる自働車を御利用あれ　一時間金六圓

京城眞貝館　自働車部
電話一〇四〇番　三〇四七番

糖化菌含有乳酸菌製劑
整腸消化劑
ビオフェルミン

本劑はメチニコフ博士の提唱したる乳酸菌療法に最も適したる完全乳酸菌製劑にしてブルガリアン乳酸菌の外腸内に於て澱粉質の消化を行ひ併せて乳酸菌の作用を強烈ならしむる糖化菌を含有す。即ち本劑は腸内殺菌、防腐、消化、整腸の三作用を有するを以て腸諸疾患、腸消化不良等に對して現今唯一の良劑として賞用せらる。三十瓦入（金九拾錢）百五十瓦入（金參圓九十錢）五十錠入（金七拾五錢）百五拾錠入（金貳圓）送料十二錢、外ニ粉末三百瓦入、四百五拾瓦入あり

本劑に關する諸家二百有餘名の臨床報告集あり、無代郵呈す。全國知名藥店に販賣す。

發賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衛商店